



学校法人 岩手医科大学

# 事業報告書

■ □ ■ 令和3(2021)年度 ■ □ ■



● 2022年3月に竣工を迎えた感染症対策センター



誠のあゆみ、未来へつなぐ

# 目 次

## I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 法人の沿革	2
3. 設置する学校	3
4. 入学定員数・収容定員数・現員数	3
5. 理事会・評議員会の開催状況	3
6. 役員等の概要	3
7. 諸規程の主な改正等	5
8. 主な事業の概要	7
9. 主な行事等	23
10. 土地の増減	26
11. 建物等の増減	26
12. 取得した主な機器備品等	27
13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等	28

## II 人事の概要

1. 主な役職人事	30
2. 主な教職員人事	30
3. 教職員総数	30

## III 学事の概要

1. 入学者、卒業（修了）者数	31
2. 学位授与者数	31
3. 文部科学省科学研究費助成事業	31
4. 厚生労働省科学研究費補助金	36
5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	36
6. その他公的機関受託研究等	37
7. 解剖体慰霊祭および解剖体数	38
8. 白寿会員数	38
9. 海外出張者数	38
10. 国家試験成績	38

## IV 附属病院の概要

1. 患者数	39
2. 救急患者取扱件数	39
3. 分娩件数	39
4. アイバンク登録者数	39
5. 手術件数および死亡者数	39

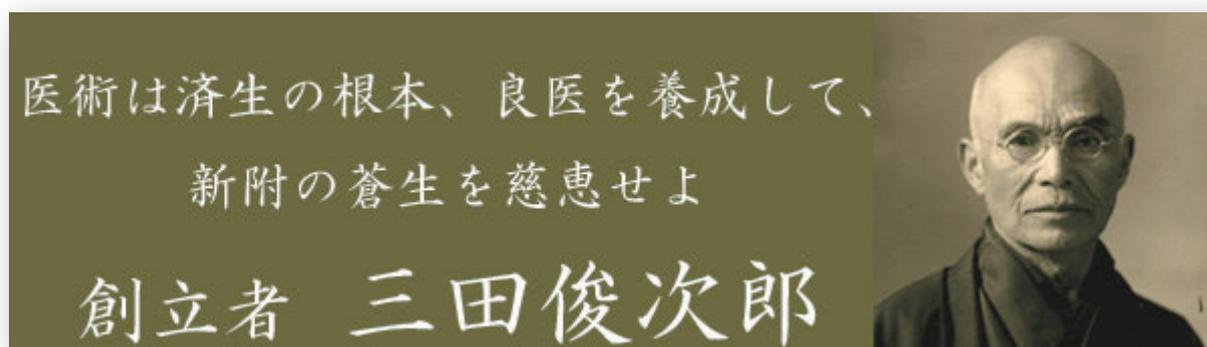
## V 財務の概要

1. 事業活動収支	40
2. 資本収支	43
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	44
4. 令和3年度事業活動収支計算書	45
5. 令和3年度資金収支計算書	46
6. 貸借対照表	47
7. 医療収入内訳	48
8. 令和3年度事業活動収支構成比率	49
9. 令和3年度教育活動収支構成比率	50
10. 経年比較	51
11. 参考：学校法人会計の特徴について	58

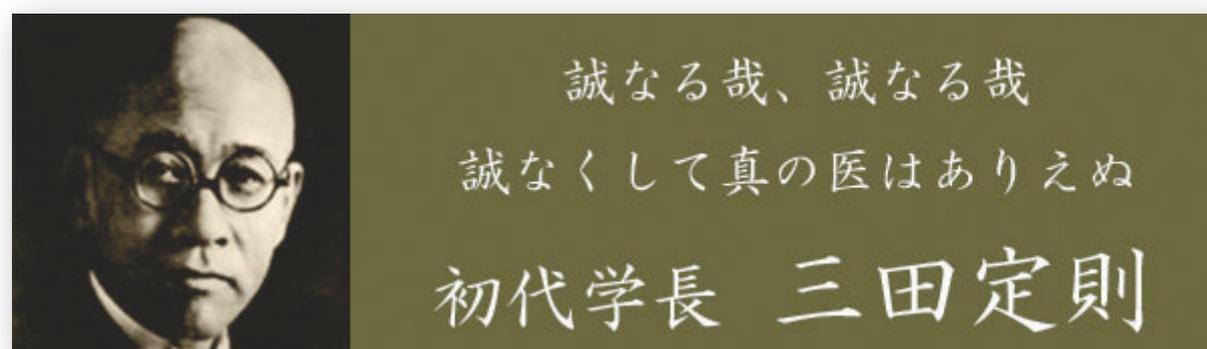
# I 法人の概要

## 1. 建学の精神

本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。【岩手医科大学学則 第1章・第1条】



西欧化の荒波が押し寄せる中、明治新政府の医療施策は定まらず、岩手県では医療機関が長期に亘り途絶える等、県民の医療は困窮を極めていました。これを憂いた三田俊次郎は、私財を投じて私立岩手病院を設立、同時に医師、看護婦、産婆の養成に努めました。自らは勤儉力行に徹する一方、幾多の社会福祉事業、育英事業を興し、生涯を弱者救済と人材育成に捧げました。



俊次郎の限りない人類愛を受け継ぎ、岩手医学専門学校第2代校長となった定則は、戦後の学制改革に際し陣頭指揮を執って大学昇格を果たし、初代学長に就任しました。温厚にして飾らず、誰に対しても敬と愛をもって接した定則は「医師たらんとする者は先ず人間であらねばならぬ」を持論とし、人類の理想に「誠」を掲げました。

俊次郎と定則の精神は、私立学校法改正に伴う学校法人岩手医科大学への組織変更の際し、新制岩手医科大学学則に高らかに謳われ、今日まで脈々と受け継がれています。

## 2. 法人の沿革

明治30年	私立岩手病院開院 医学講習所・産婆看護婦養成所併設	平成19年	矢巾キャンパス第一次事業竣工 薬学部・共通教育センター開設
明治34年	私立岩手医学校設立認可	平成21年	附属病院に循環器医療センターを開設 (附属循環器医療センターを統合)
大正15年	岩手病院診療棟(現一号館)竣工	平成22年	超高磁場先端MRI研究所竣工 附属PET・リニアック先端医療センター開設
昭和3年	財団法人岩手医学専門学校設立認可	平成23年	矢巾キャンパス第二次事業竣工 医学部・歯学部基礎講座統合 共同研究部門を医歯薬総合研究所に改組 歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校を統合し、 岩手医科大学医療専門学校へ名称変更
昭和22年	財団法人岩手医科大学に組織変更	平成24年	附属病院ドクターヘリ基地ヘリポート竣工
昭和23年	医学部医学科開設	平成25年	大学院薬学研究科開設 災害時地域医療支援教育センター・ マルチメディア教育研究棟竣工
昭和26年	学校法人岩手医科大学に組織変更	平成26年	共通教育センターを全学教育推進機構に改組
昭和27年	新制岩手医科大学発足	平成28年	岩手看護短期大学開設 矢巾キャンパスにエネルギーセンター竣工 附属病院にPET・リニアック先端医療センターを開設 (附属PET・リニアック先端医療センターを統合)
昭和30年	医学進学課程設置	平成29年	看護学部開設
昭和35年	大学院医学研究科博士課程開設	平成30年	矢巾キャンパスにやはばなかよし保育園竣工
昭和40年	歯学部、教養部開設	平成31年	附属花巻温泉病院閉院
昭和41年	岩手歯科技工士学校開設	令和元年	矢巾キャンパスに新附属病院竣工 法人及び大学の本部を矢巾キャンパスに変更 矢巾キャンパスに附属病院を移転 内丸キャンパスに附属内丸メディカルセンターを開院
昭和42年	歯学部附属病院開院	令和2年	岩手看護短期大学閉学 岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科閉科
昭和47年	記念図書館竣工	令和3年	矢巾キャンパスにResident Heim(レジデントハイム)を竣工
昭和51年	岩手歯科技工士学校を 岩手歯科技工専門学校に名称変更	令和4年	矢巾キャンパスに感染症対策センターを竣工
昭和55年	岩手県と共同で岩手県高次救急センター開設 [現 岩手県高度救命救急センター]		
昭和58年	大学院歯学研究科博士課程開設		
平成2年	サイクロトロンセンター開設		
平成5年	附属花巻温泉病院開院		
平成6年	岩手医科大学附属病院に特定機能病院の承認		
平成9年	創立六十周年記念館竣工 附属循環器医療センター開院		
平成12年	超高磁場MRI研究施設竣工 木の花会館竣工		
平成16年	岩手医科大学歯科衛生専門学校開校 岩手歯科技工専門学校を 岩手医科大学歯科技工専門学校に名称変更 大学院医学研究科修士課程開設		
平成17年	附属病院に歯科医療センターを開設 (歯学部附属病院を統合)		

### 3. 設置する学校

- (1) 岩手医科大学
- |     |       |      |      |
|-----|-------|------|------|
| 大学院 | 医学研究科 | 医学部  | 医学科  |
|     | 歯学研究科 | 歯学部  | 歯学科  |
|     | 薬学研究科 | 薬学部  | 薬学科  |
|     |       | 看護学部 | 看護学科 |
- (2) 岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生専門課程 (3年制)

### 4. 入学定員数・收容定員数・現員数 (令和3年5月1日現在)

学 校	学部・学科等	入学定員数	收容定員数	現員数
①岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	200名	135名
	修士課程	10名	20名	14名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	72名	40名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	12名	10名
	修士課程	3名	6名	0名
	医学部 医学科	126名 編入学4名	766名	782名
	歯学部 歯学科	73名	438名	311名
	薬学部 薬学科	80名	760名	452名
②岩手医科大学 医療専門学校	看護学部 看護学科	90名 編入学5名	370名	364名
	歯科衛生専門課程	40名	120名	106名

### 5. 理事会・評議員会の開催状況

理事会は定例を11回、評議員会は定例を2回開催しました。

### 6. 役員等の概要

- (1) 役員等の定員数、現員数、氏名等 (令和4年3月31日現在)

#### ①理 事

定員数 : 7人以上13人以内 現員数 : 11人

理事長 小川 彰 (常勤)

理 事 祖父江 憲治 (常勤) 酒井 明夫 (常勤) 三浦 廣行 (常勤)

三田 ひろみ (非常勤) 三田 義之 (非常勤) 高橋 真裕 (非常勤)

佐々木 真理 (常勤) 河野 富一 (常勤) 三浦 幸枝 (常勤)

小笠原 邦昭 (常勤)

## I 法人の概要

### ②監 事

定員数 : 2人以上3人以内 現員数 : 2人

小野寺 勲 (非常勤) 池田 克典 (非常勤)

### ③評議員

定員数 : 27人以上38人以内 現員数 : 28人

小川 彰	祖父江 憲治	三浦 廣行	河嶋 寛
佐々木 真理	小原 紀彰	佐藤 保	加藤 章信
小笠原 邦昭	松政 正俊	河野 富一	佐藤 和朗
小澤 正吾	遠藤 太	高橋 真	佐藤 悦子
高橋 真裕	三田 ひろみ	三田 義之	酒井 明夫
三上 藤雄	下沖 収	三浦 幸枝	菊池 進
後藤 康文	斎藤 和好	嶋森 好子	高橋 耕

## (2) 役員等の異動

### ①理 事

(新任) 河野 富一 (寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年4月1日付)

(新任) 三浦 幸枝 (寄附行為第7条第1項第5号理事 令和3年4月1日付)

### ②評議員

(再任) 三浦 廣行 (寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 河嶋 寛 (寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 佐々木 真理 (寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 小原 紀彰 (寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 佐藤 保 (寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 加藤 章信 (寄附行為第19条第2項第3号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 小笠原 邦昭 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 松政 正俊 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 河野 富一 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 佐藤 和朗 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 小澤 正吾 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 遠藤 太 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 高橋 真 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 佐藤 悦子 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 高橋 真裕 (寄附行為第19条第2項第5号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 三田 ひろみ (寄附行為第19条第2項第5号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 三田 義之 (寄附行為第19条第2項第5号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 酒井 明夫 (寄附行為第19条第2項第5号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 三上 藤雄 (寄附行為第19条第2項第5号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 下沖 収 (寄附行為第19条第2項第5号評議員 令和3年4月1日付)

(新任) 三浦 幸枝 (寄附行為第19条第2項第5号評議員 令和3年4月1日付)

(再任) 菊池 進 (寄附行為第19条第2項第6号評議員 令和3年4月1日付)

- (再任、条項変更) 後藤 康文 (寄附行為第19条第2項第6号評議員 令和3年4月1日付)  
 (再任、条項変更) 斎藤 和好 (寄附行為第19条第2項第6号評議員 令和3年4月1日付)  
 (再任、条項変更) 嶋森 好子 (寄附行為第19条第2項第6号評議員 令和3年4月1日付)  
 (再任、条項変更) 高橋 耕 (寄附行為第19条第2項第6号評議員 令和3年4月1日付)  
 (退任) 高橋 真 (寄附行為第19条第2項第4号評議員 令和4年3月31日付)

### (3) 責任免除・責任限定契約の状況

私立学校法及び寄附行為に従い、令和2年4月1日から責任限定契約を締結している。

#### ①対象役員の氏名

- ・非業務執行理事\*：三田 ひろみ、三田 義之、高橋 真裕
- ・監事：小野寺 勲、池田 克典

※非業務執行理事とは、理事長、常務理事、業務を執行したその他の理事又は法人の職員でない理事をいう。

#### ②契約内容の概要

当該役員がその任務を怠ったことにより学校法人に損害を与えた場合において、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額（責任限度額）を限度として損害賠償責任を負うものとしている。

#### ③契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約において、当該役員がその職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときに責任を限定することを明確にしている。

## 7. 諸規程の主な改正等

### (1) 学則の一部改正（令和3年4月26日改正、令和4年4月1日施行）

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、看護学部における令和4年度の教育課程再編を趣旨とする一部改正

### (2) 附属病院規程及び附属内丸メディカルセンター規程の一部改正（令和3年4月26日改正、令和3年4月1日施行）

- ①附属病院及び附属内丸メディカルセンターの診療部門について、呼吸器・アレルギー・膠原病内科を呼吸器内科と膠原病内科へ組織改編することを趣旨とする一部改正
- ②附属病院にがん診療センターを設置することを趣旨とする一部改正
- ③職員就業規則の改正に伴い、栄養士を管理栄養士に改めることを趣旨とする一部改正

### (3) 組織規程及び教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和3年6月28日改正）

- ①医歯薬総合研究所が従来から行ってきた機能形態学に関する研究を更に発展・推進させるために、機能形態研究部門を新設することを趣旨とする両規程の一部改正（令和3年7月1日施行）
- ②統合基礎講座における教育・研究の充実と強化を目的に、当該講座教員定員の見直しにより医学部運用定員を設けることを趣旨とする教育職員の定員に関する規程の一部改正（令和3年7月1日施行）
- ③歯学部教務課員が兼務している内丸キャンパス教務課を実態に即し廃止すること、医師卒後臨床研修

## I 法人の概要

センター事務室の名称を研修センター事務室に改め、高度看護研修センター等、附属病院の研修業務を一元管理すること、内丸総務課と内丸医事課を統合し、内丸キャンパス事務室に改め、併せて病院事務部の組織を整理することを趣旨とする組織規程の一部改正（令和3年8月1日施行）

### （4）寄附行為施行細則の一部改正（令和3年7月26日改正、施行）

押印等行政手続の見直しに係る文部科学省通知の発出に伴い、学校法人の理事会議事録の署名人に監事を含めることを趣旨とする一部改正

### （5）学則の一部改正（令和3年7月26日改正、令和4年4月1日施行）

新医師確保総合対策（岩手県地域枠）、緊急医師確保対策（岩手県地域枠）及び歯学部定員振替に係る医学部定員増期間を令和4年度まで延長することを趣旨とする一部改正

### （6）就業規則の一部改正（令和3年7月26日改正、令和3年4月1日施行）

①教育職員の勤務時間を規定することを趣旨とする職員就業規則の一部改正

②新型コロナウイルス感染症に関する特別休暇の規定を趣旨とする職員就業規則及び臨時職員就業規則の一部改正

### （7）附属病院規程の一部改正（令和3年7月26日改正、令和3年8月1日施行）

附属病院組織の管理体制強化を目的として、臨床心理室に副室長を置くことを趣旨とする一部改正

### （8）医療専門学校学則の一部改正（令和3年9月27日改正、令和4年4月1日施行）

口腔健康管理、チーム医療・多職種連携における歯科衛生士の役割を習得させるため、授業時間数及び単位数を変更することを趣旨とする一部改正

### （9）組織規程の一部改正（令和3年11月29日改正、令和4年4月1日施行）

教学I Rに関し、学修成果の可視化、マネジメント層や各学部等への情報提供、分析支援等を更に充実させるため、全学教育推進機構の下に教学I Rセンターを新設することを趣旨とする一部改正

### （10）組織規程の一部改正（令和3年12月20日改正、令和4年4月1日施行）

病院情報資産を一元的に集約して活用することにより、業務の効率化及び経営改善に資することを目的として、病院事務部に病院情報管理課を設置することを趣旨とする一部改正

### （11）組織規程及び職員の定員に関する規程（教育職員、一般職員）の一部改正（令和4年2月28日改正、令和4年4月1日施行）

①医学部臨床系講座において、時代に即した効果的な教育・人材育成と組織運営並びに新専門医制度等への対応を図ることを目的として、内科学講座の消化器内科消化管分野と消化器内科肝臓分野を統合し消化器内科分野に、耳鼻咽喉科学講座と頭頸部外科学科を統合し耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座に、救急・災害・総合医学講座の救急医学分野、災害医学分野、総合診療医学分野を再編し救急・災害医学講座、総合診療医学講座に改めることを趣旨とする組織規程の一部改正

②①の改正に伴う講座定員及び運用定員の変更を趣旨とする教育職員の定員に関する規程の一部改正

③附属病院移転に伴う大幅な組織改編後の適正な定員管理及び就業規則等との整合を図るとともに、全般的に見直すことを趣旨とする一般職員の定員に関する規程の一部改正

(12) 大学院学則の一部改正（令和4年2月28日改正、令和4年4月1日施行）

第3期機関別認証評価における大学院の各授業科目の成績評価基準に係る指摘への対応、また、課程を経ない者の学位授与に係る試験方法を現状に則した内容とすることを趣旨とする一部改正

(13) 学則の一部改正（令和4年3月28日改正、令和4年4月1日施行）

医学部、歯学部、薬学部における令和4年度教育課程の再編を趣旨とする一部改正

(14) 就業規則等の一部改正（令和4年3月28日改正、令和4年4月1日施行）

- ①教育職員の定年退職等に係る一部条項の削除を趣旨とする職員就業規則の一部改正
- ②令和4年4月施行の改正育児・介護休業法において、有期雇用労働者の育児・介護休業の取得要件の一つが撤廃されることに伴い、関係条項の改正を趣旨とする臨時職員就業規則、職員の育児休業等に関する規程、職員の介護休業及び介護短時間勤務に関する規程の一部改正
- ③再雇用職員の病気休暇について一部有給化することを趣旨とする再雇用職員の取扱いに関する規程の一部改正

(15) 附属病院規程の一部改正（令和4年3月28日改正、令和4年4月1日施行）

感染症対策センターの設置を趣旨とする一部改正

## 8. 主な事業の概要

(1) Vision2020-2024 学校法人岩手医科大学中期計画の実施状況

本法人は、私立大学における経営環境が一層厳しさを増す中、安定的な運営を行い、使命を果たしていくため、2020年3月に「Vision2020-2024 学校法人岩手医科大学中期計画」を策定しました。

2021年度は、昨年度に引き続き10月時点の取組・進捗状況を中間検証し、その結果については、機関会議等で確認の上、大学の財政状況や社会情勢等も踏まえて本計画の一部見直しを行い、2022年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。

【中間検証結果】

- ・基準日 2021年10月1日
- ・対象事業 中期計画に基づく2021年度実施予定事業（全121事業）

(ア) 計画どおり達成した 26事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
教育・研究関係	大学院医学研究科における教育課程の充実	ICTの充実

## I 法人の概要

	医学部における教育の質の向上と学修成果達成に向けた医学教育の推進	社会の要請及びステークホルダーに応じた教育プログラムの策定 教員の教育研究活動能力の向上
	歯学部入学生の確保	広報活動の充実
	歯学部における教育研究組織の整備	組織編成、定員の見直し
	薬学部の適正な入学定員の設定とその維持に必要な志願者の確保に向けた取り組み	2021年度入試に向けた入学定員の削減
	看護学部完成年度以降も学部を安定的・発展的に機能させていくための教育研究基盤の再構築	教育課程の抜本的な見直し
	教学 IR(Institutional Research)の推進	ファクトブックの継続的作成と公開
		学修支援アンケートの実施と解析、公表と学生へのフィードバック
		IR活動に関する情報収集
	初年次教育の強化	カリキュラムの見直し
	シミュレーション教育の充実	機器の新規購入・更新と維持管理
	教育設備（矢巾キャンパス施設の視聴覚機器）の更新	矢巾キャンパス施設の視聴覚機器の更新
	入試制度改革の推進と入学者の安定的確保	大学案内発行、受験生専用ホームページの管理運営
	古書の整備	貴重書のレッドロット状態の補修
	地域への情報発信	内丸図書館医療情報コーナーでの情報提供
	学生支援体制の推進	キャンパスライフガイドの作成
		学生との意見交換
	学生の希望を叶えるためのキャリア支援体制の構築	就活支援ブック・広報用リーフレットの印刷等
		求人検索システムの運用
	医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	満足度の高いオープンキャンパスの工夫
診療関係	医師の時間外労働規制に対する取り組み	36協定等の自己点検（36協定の見直しと締結）
		産業保健の仕組みの活用（安全衛生委員会への報告、長時間勤務者との面談、診療科毎の対応協議）
		タスク・シフティング（業務移管）の推進（診断書代行作成、特定行為者の養成）
施設設備関係	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（矢巾キャンパス）	機械設備修繕（熱源） 2021年度：各棟屋上冷温水発生機重油配管取り換え修繕
	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（内丸キャンパス）	機械設備修繕（熱源） 2021年度：歯学部ターボ冷凍機整備修繕

## (イ) 計画どおり達成する見通し 90 事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
創立 120 周年 記念事業関係	内丸地区跡地活用計画の検討推進	内丸地区跡地活用計画の検討推進
	事業活動資金の確保に向けた募 金活動の継続実施	広範にわたる募金活動の展開 (継続的な募金パンフレットの 作成、送付、ホームページの更新)
		顕彰活動の継続実施 (表彰、記念品贈呈、寄付者銘板の作成)
教育・研究 関係	大学院医学研究科における教育 課程の充実	情報公開の充実及び募集広報方式の改革
	医学部における教育の質の向上 と学修成果達成に向けた医学教 育の推進	医師国家試験対策
		学修支援体制の強化
	大学院歯学研究科における学位 論文の審査基準の設定及び学生 への事前周知	学位論文審査基準の見直し
	歯学部入学生の確保	教育課程の充実
		学生受け入れ方針の検証・改定
		入試科目、入試方法の検証、検討
	歯学部における教育研究組織の 整備	計画的な教員の選考
		教員選考方針の検討
	薬学部の適正な入学定員の設定 とその維持に必要な志願者の確 保に向けた取り組み	広報活動による薬学の紹介
		ホームページによる情報発信
		高大連携の取り組みを実施
	薬学部における教育の質向上と 学修成果の判定方法の開発に向 けた取り組み	教育的質の向上を目指した教員組織体制の見直し
		クラス担任制度の強化
		学習内容の見直し
		学修成果の判定
	薬学研究科における 4 つのポリ シーの見直しと教育課程の整備	卒業時、卒業後アンケートの実施
		薬学研究科の 4 つのポリシーの見直し
		学位授与に係る基準や規程の見直し
		薬学研究科の指導教員の研究・教育能力の向上
学内の他研究科の学位取得を支援する取り組み		
看護学部完成年度以降も学部を 安定的・発展的に機能させていく ための教育研究基盤の再構築	薬学研究科修士課程の入学者確保対策	
	看護学部の将来構想を踏まえた中長期的採用計画の策定と 履行	
	戦略的な国家試験対策の積極的な展開	

## I 法人の概要

	全学的教育改革の支援活動	全学的教育改革の支援
		教員研修の積極的な実施
		多職種連携等の全学的な科目の検討
	教学 IR(Institutional Research)の推進	アセスメントテストの実施と解析
		集約情報のデータベース化及び分析・可視化ソフトの導入
	初年次教育の強化	学生支援や学修支援制度の見直し
		入学前教育
	実習等に係る機器等（教養教育センター）の年次更新	化学実習の機器整備
		生物学実習の機器整備
		他科目等に関する機器等の整備
	入試制度改革の推進と入学者の安定的確保	入試制度改革の推進
		学生募集に係る広報活動（広告掲載、進学相談会、進学情報サイト掲載）
		オープンキャンパスの開催
	地域への情報発信	図書館連携による医療・健康情報企画展示
	学修及び教育研究環境の整備を目的とした蔵書構築プランの策定	蔵書構築プランの策定、蔵書構築マニュアルの作成
		蔵書構築マニュアルに則した図書館運用、プランに則した収書及び適正な在庫配置への変換
		蔵書の在り方について評価・分析（利用者からの意見収集方法の検討等）
	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動の推進	研究成果の社会還元支援（特許等知的財産権利化・維持支援、研究成果の公開と連携模索支援）
教育研究の高度化に対応した教職員及び学生に対する啓発（知的財産、研究活動におけるリスクマネジメント）		
地場産業クラスターや産学連携推進協議会等の集積拠点への参画による研究開発の促進		
競争的資金（産学連携関係）への組織的な斡旋と申請内容の多角的視点からのブラッシュアップ等獲得支援		
学生支援体制の推進	学生支援方針・指針の見直し	
学生の希望を叶えるためのキャリア支援体制の構築	企業研究セミナー（学内合同企業説明会）	
	キャリア支援講演会・ガイダンスの開催	
医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	入学定員充足率向上を目指した広報活動の展開	
	国家試験合格を見据えた学習支援の強化	
補助事業及び委託事業関係	研究施設（センター）における支援体制の整備	研究施設スタッフのスキルアップ
		研究施設の利用者数増加のためのサービス内容の周知
災害対応医療人の育成	災害時実践力強化事業	
	災害医療研修会	
	いわての師匠事業	

	東北メディカル・メガバンク計画	東北メディカル・メガバンク計画
	岩手県ドクターヘリ運航事業	岩手県ドクターヘリ運航事業
	岩手県こころのケアセンター事業	岩手県こころのケアセンター事業
	いわてこどもケアセンター運営事業	いわてこどもケアセンター運営事業
診療関係	医師の時間外労働規制に対する取り組み	医師の労働時間管理の適正化に向けた取り組み（医師の労働時間把握、相談受付体制の整備）
		医師の労働時間短縮に向けたその他の具体的な取り組み（医師との労働時間削減計画に関する意見交換、勤務間インターバルの試行、連続勤務時間制限の試行）
	病院運用の効率化に向けた取り組みの推進	外来運用の効率化に向けた取り組み
		病棟運用の効率化に向けた取り組み
		病院医療情報システム整備
		医療経費削減に向けた取り組み
	内丸メディカルセンター病院機能評価受審に向けての整備	準備委員会等の設置、運営
		病院機能評価受審費用の支払
		病院機能評価改善支援事業（サービヤー派遣）
		施設設備等改修
管理運営関係	ガバナンスの向上等による運営基盤の強化	ガバナンス・コードに基づく法人運営の推進
		中期計画及び事業計画の実行と進捗・達成状況等の管理
	高品質・高信頼な情報ネットワークの運用	矢巾 A 敷地-C 敷地間バックアップ回線整備
		内丸メディカルセンター診療系ネットワーク更新
		矢巾・内丸学術ネットワーク更新
	情報セキュリティ強化	セキュアインターネットゲートウェイの導入運用
	勤怠管理システムの導入	勤怠管理システムの導入
	附属病院移転に係る借入金の返済と借入金利息の支払い	借入金の返済（2034年6月まで）
		借入金利息の支払い（2034年6月まで）
	資金計画のための財務分析	資金計画のための財務分析
	本法人保有資産の有効活用について	不動産の有効活用に向けた検討
		物品（機器・備品等）の有効活用に向けた体制整備
	大学運営の適切性についての点検・評価及びその結果に基づく改善・向上に向けた監査の実施	標準的な内部監査手続きの徹底
		法人運営の効率化に資する内部監査の実施
		内部監査に関する基本的事項の周知・有効性に関する啓発
施設設備関係	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（内丸キャンパス）	電気設備修繕（PCB 汚染電気機器取替・廃棄処分） 2021・2022 年度：旧東病棟救急センター電気室冷凍機変圧器撤去処分及び 10 号館電気室変圧器更新及び処分

## I 法人の概要

	図書館防災対策	傾斜スライド棚取付
	内丸メディカルセンター施設等整備計画	内丸メディカルセンタートイレの洋式化

### (ウ) 計画どおり達成する見通しが立たない 5 事業

区分	中期計画タイトル	主な実施事業
創立 120 周年記念事業関係	内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進	大学財政状況等の検証及び計画検討・矢巾内丸病院機能のあり方検討
教育・研究関係	全学的教育改革の支援活動	e-ラーニング・ICT 活用に関する検討、サーバ等資源整備
	実習等に係る機器等（教養教育センター）の年次更新	物理実習の機器整備
補助事業及び委託事業関係	災害対応医療人の育成	日本災害医療ロジスティクス研修
施設設備関係	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事

### 【一部変更等を行った計画】

#### (ア) 変更 10 計画

区分	中期計画タイトル
創立 120 周年記念事業関係	内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進
教育・研究関係	大学院医学研究科における教育課程の充実
	教学 IR(Institutional Research)の推進
	実習等に係る機器等（教養教育センター）の年次更新
	入試制度改革の推進と入学者の安定的確保
管理運営関係	情報セキュリティ強化
施設設備関係	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（矢巾キャンパス）
	建物別・建築設備維持運用に係る修繕計画（内丸キャンパス）
	内丸メディカルセンター施設等整備計画
	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事

#### (イ) 追加 1 計画

区分	中期計画タイトル
管理運営関係	事務局の業務改善に向けた取組

## (2) 2021 年度事業計画の実施状況

## (ア) 創立 120 周年記念事業関係

事業計画		2021 年度の実施状況
①	内丸メディカルセンター新棟建設計画（仮称）の推進	現在の内丸メディカルセンターの施設は、築後 50 年を経過した建物が多く、老朽化が著しいことから、早期の新棟建設に向けた計画の推進が必要な状況にあるものの、新型コロナウイルス感染症の猛威は本年度も収まることはなく、第 5 波、第 6 波の流行拡大に伴い計画の推進が困難な状況であることから、昨年度に引き続き大学財政状況の検証及び矢巾・内丸の病院機能のあり方の検討を継続しました。また、次年度の計画推進に向け財政状況を検証した結果、医療収入を中心に大学の収支は回復傾向にはあるものの、内丸地区整備に向けた事業資金の積立を再開するまでには至らない状況であることから、次年度も財政状況の検証及び病院機能のあり方の検討を継続するとともに、歯学部・歯科医療センター移転計画については基本計画の検討を進めることとしました。
②	内丸地区跡地活用計画の検討の推進	内丸地区跡地活用の検討に当たり、若手事務職員による内丸地区再整備計画検討 WG にてとりまとめた内丸地区再整備計画への提言について、岩手県、盛岡市、盛岡商工会議所及び本学の事務局による四者事務連絡会議にて発表し、当該計画の推進に資する貴重な提言であるとの評価を得ました。四者事務連絡会議は本年度 2 回開催し、各機関での進捗状況等の情報共有を行い、引き続き活用計画の早期立案・策定に向け検討を行っていくこととしています。また、本年度は盛岡市において主催する内丸地区将来ビジョン懇話会が全 3 回にわたり開催され、内丸地区周辺の関係機関（国・県・市・大学・金融・報道・商業等）による意見交換の内容を踏まえ「内丸地区将来ビジョン」が策定されました。今後、盛岡市により関係機関や市民、有識者等と広く意見交換を重ねながら「内丸プラン」として具体的な事業の検討が行われる予定となっています。
③	事業活動資金の確保に向けた募金活動の継続実施	<p><b>【学術振興資金募金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集活動：新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、教育・研究・診療活動の経常的資金を確保するため、募金ホームページの整備や募金パンフレットの送付等を通じて支援の拡大を図りました。</li> <li>・顕彰活動：WEB 芳名録と岩手医科大学報で芳名を紹介し、寄付者の顕彰を行いました。</li> </ul> <p><b>【創立 120 周年記念事業募金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集活動：募金ホームページを通じて募集活動を継続しました。</li> <li>・顕彰活動：顕彰規程に基づき、記念品及び感謝状の贈呈を行った他、WEB 芳名録及び岩手医科大学報で芳名を紹介し、寄付者の顕彰を行いました。</li> </ul>

## (イ) 教育・研究関係

事業計画		2021 年度の実施状況
①	大学院医学研究科の教育課程における ICT の充実	2021 年度から、感染症対策と学生の利便性を考慮し、医学研究科における共通教育科目・基礎科目の講義を全面的にオンライン形式で実施しました。また、講義実施後は、収録した講義動画を速やかに講義収録システムにて配信を行い、資料の提供やレポート提出のために Webclass の使用も開始しました。

②	大学院医学研究科における情報公開の充実及び募集広報方式の改革	取り組みを進めていた大学院改革の一環として、2021年度から新カリキュラム制度が開始され、従前よりも学生にわかりやすい制度設計となり、シラバスや広報用の大学院ガイドにも内容を反映させました。一方、2022年度の入学志願者は、例年に比べて大きく減少したことから、引き続き大学ホームページや広報誌の充実、ガイダンスの対象者拡大等を検討し、大学院の優位性を周知していく予定です。
③	医学部における学修支援体制の強化による医師国家試験合格率と進級・卒業率の向上	<p>医師国家試験合格率の向上及び原級・卒業留置者の減少に向けた対策として、第3～6学年の留置者と成績低迷者には、教務委員会・学修支援委員会・担任が中心となり、基礎知識の向上、自己学修態度の定着、モチベーションの維持・向上を目的とした少人数双方向性学修支援プログラムを更に充実させ、国家試験対策と成績低迷者対策を強化しました。また、総合試験ブラッシュアップの徹底や教学IRの積極利用等を通して進級／卒業試験・進級／卒業判定の更なる適正化を図りました。</p> <p>共用試験CBTについては、第2～4学年における戦略的な学修支援プログラムを継続して実施しました。また、低学年からの生活習慣の適正化と自己学修習慣の習得のため、担任・教務委員会・学生部が連携して、第1～2学年に対する多角的な指導と支援を継続しました。</p>
④	大学院歯学研究科における学位論文の審査基準の設定及び学生への事前周知（早期課程修了を含む）	「学位論文審査の手引き」内に記載されている学位論文審査基準の見直しを継続的に行い、教育要項に記載するとともに大学ホームページで公開しました。併せて、学位論文審査に至るまでの初期審査から中期審査の評価項目及び学位審査に至るまでの課程を示すフロー図や学位授与に関する規程の内容についても継続的に見直しを行い、学位取得までに各段階で必要とされる研究達成度を明文化するとともに各審査における必要手続を明確化することで学位取得を支援しています。
⑤	歯学部教育課程の充実	担当チューターによる、学生個々の学習管理や個別指導を引き続き行いました。低学年では、歯学教育支援システムによる演習や事前課題を課した上で、総合試験形式の試験を取り入れて知識の確認を行い、個別にフィードバックすることで知識の定着を図るシステムの構築を進めました。高学年では、第6学年において弱点分野克服のための補講や基礎と臨床で関連する分野の知識統合を目的とした特別講義を実施した他、第5学年の学生に第6学年の総合試験を同時受験させ、次年度の国家試験を見据えた学習を促しました。併せて、指導教員の教育力の更なる向上を目指し、年4回の教育研修会を実施しました。
⑥	歯学部における計画的な教員選考	定年退職等に伴い欠員となる講座については、選考委員会を設置の上、教育・研究・臨床の能力や実績を十分に考慮するとともに、歯学部の編成上の方針に配慮した上で計画的に選考を進めました。また、更なる充実を図るため定員の見直しを行いました。退職教授の後任については、年度内の就任に至らなかったため、教授代理を立て、運営に支障が無いよう配慮しました。
⑦	薬学部における教育の質向上と入学者確保に向けた取り組み	<p>地域医療に貢献する薬剤師の育成を目標に、学生一人ひとりに対しての手厚い教育と、多職種と連携した堅実な医療人としての成長を促すため、教育の質向上、学生の成長及び学修成果を判定する適切な方法の構築等について、前年度に引き続き取り組みました。また、適正な入学定員の設定、入学定員の充足を図るべく高校訪問やホームページのコンテンツ充実等、広報活動や社会への薬学及び薬剤師の魅力についての啓発活動、卒業時及び卒業後のアンケート調査の実施と解析を行い、学生対応や効果的な教育体制の見直しに取り組む等、薬学部の改革を推し進めました。</p> <p>なお、第107回薬剤師国家試験合格率は、新卒が第98回以来の90%を上回る結</p>

		果となり、既卒は2021年度秋卒業、2020年度卒業生までの合格率が全国平均を上回る結果となったことから、引き続き成績中位から下位層に対する手厚い教育と、学修支援を積極的に進めていきます。
⑧	看護学部設置から4年間の検証と完成年度以降の教育研究組織体制の構築	<p>看護学部設置から4年間の各種取り組みの検証を行い、学部を安定的・発展的に機能させていくことに努めました。</p> <p>教育課程においては、2022年度からの保健師助産師看護師学校養成所指定規則に係る教育内容及び単位数等の改正に合わせ、人材養成に対する社会的要請や学問領域の特性等を踏まえつつ再構築を行いました。また、教育課程の再構築に伴い、教員組織編成の在り方についても見直しを図り、教育研究活動の更なる活性化及び教育研究水準の維持向上に向けた体制を整備しました。</p> <p>この他、保健師・助産師・看護師国家試験結果等の分析に基づき、これまでの学修支援体制を点検・評価し、高位合格率を目指して戦略的な対策を積極的に展開した結果、保健師・助産師・看護師（既卒含）国家試験すべてにおいて、合格率100%の成績を収めました。</p>
⑨	全学的教育改革の検討と支援	遠隔・分散授業に対応すべく、文部科学省の令和3年度私立学校情報機器整備費（遠隔授業活用推進事業）補助金を活用し、バーチャルスライドの画像配信システムの更新を行い、教育環境の改善を図りました。
⑩	教学 IR (Institutional Research) の充実	<p>事業計画に基づき次のとおり取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教学データの可視化としてファクトブックの継続的作成と公開を行いました。</li> <li>・学生の学修時間・学修実態、学修成果及び大学への満足度等を調査するために学修支援アンケートを実施しました。</li> <li>・ディプロマポリシーの達成度及び教育成果の可視化を実施するために、過年度卒業生及び卒業生就職先へのアンケート調査、外部アセスメントテストを継続実施し、分析結果を各学部へフィードバックしました。</li> <li>・IR活動の充実を図るべく教学IRセンターを次年度から新設することとし、各種規程を整備しました。</li> </ul>
⑪	教養教育、準備教育に係る教育見直しと高大連携の改善	入学前教育から、専門教育への橋渡し教育まで、時代の変化に対応した教育への改善を図る一環として、岩手県高等学校長協会との協定に基づき協議会を開催し、双方の課題を含めた情報共有により相互理解を促し、高大連携による入学前教育からの学修支援の強化について合意を得ました。また、学生数の変化に伴い、教育環境整備を趣旨として実習科目等のクラス編成を変更する等、カリキュラム改善を図りました。
⑫	シミュレーション教育環境の整備	<p>学生及び医療従事者に対する医療技術の教育や研修の場として、シミュレーション教育の充実を図る目的で2019年度にシミュレーションセンターを設置しました。</p> <p>2021年度は前年度に採択された補助金2件（令和2年度私立大学等研究設備整備費等補助金、令和2年度大学改革推進等補助金（感染症医療人材養成事業））を利用し、使用率が高く経年劣化が進んでいた高額シミュレーター群の追加購入を行い、それらを用いたシミュレーション実習を看護学部、附属病院看護部で複数回開催しました。また、使用率向上のためにシミュレーターの操作説明会をオンラインで開催し、その模様を録画してWEB上でいつでも学習できるよう対応しました。</p>
⑬	実習関連機器等（教養教育センター）の年次更新	矢巾キャンパス開設時に整備した教養教育センターの実習関連機器等について、経年劣化による支障や環境変化に伴う必要台数・機器を検討の上、計画的更新・整備を行いました。

⑭	矢巾キャンパス施設の視聴覚機器の計画的更新（6か年計画中3年目）	<p>矢巾キャンパス施設の講義室等に設置している視聴覚機器（プロジェクタ、マイク設備、実習用ディスプレイ）は、設置から9～12年以上経過し、部品の生産終了等により修理対応ができないことから、6か年計画で段階的に更新を行っています。</p> <p>2021年度は、講義室のマイク・チューナー設備等7式、液晶ディスプレイ2式、大堀記念講堂内の機器設備を更新しました。</p>
⑮	入試制度改革の推進と戦略的な学生募集活動	<p>公平・公正な入学者選抜を実施するため、入学試験の概要を明示した学生募集要項を公表しました。医学部においては、総合型選抜を新設し、アドミッション・ポリシーに基づく選抜を実施しました。また、医学部一般選抜では、感染症対策として、オンラインを活用した面接試験を実施しました。新学習指導要領に対応した入学者選抜の実施については、継続的に検討を進めます。学生募集活動については、進学相談会への参加、受験生専用サイトや各種メディア等を通じて、入試制度の広報に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホームページ上でのオープンキャンパスの開催、オンライン会議システムを用いた個別相談会の実施等、受験生のニーズに柔軟に対応できるよう、環境を整えました。</p>
⑯	古書・貴重書の修復・保管	<p>革装丁の貴重書について、レッドロット状態(革の表面が赤茶けた粉状に劣化した状態)のもの内17冊の修復を実施しました。</p>
⑰	地域への情報発信	<p>岩手県内図書館で医療・健康情報に関する連携企画展示を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年9月「眠りの世界。あなたの知らない世界。」：睡眠をテーマに10館11カ所で開催</li> <li>・2022年3月「かけがえのないあなたへ～みんなちがってみんないい」：こころの健康づくり（自殺対策）をテーマに13館14カ所で開催</li> </ul>
⑱	蔵書構築プランの策定	<p>年々価格が高騰する外国雑誌の維持継続により、凶書の購入予算が圧迫されていることから、長期的な蔵書構築プランの策定に向けて取り組んでいます。</p> <p>2021年度は、次項目の具体化に向けた検討を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修及び教育環境整備のための凶書の継続的収集</li> <li>・研究支援のための文献検索・情報収集環境の整備</li> <li>・高度な医療のための臨床支援環境の整備</li> <li>・地域貢献の観点からの一般市民への情報提供</li> </ul>
⑲	知的財産本部における社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動の推進	<p><b>【ワンストップ相談窓口機能】</b> 医療系総合大学としての最先端の研究成果を知的財産化するために、ワンストップ相談窓口としての機能を常設し、対応可能者を3名配置しました。</p> <p><b>【権利化支援と権利の維持管理機能】</b> 知財専門家やTLO等技術移転機関と連携した発明の権利化支援と権利の維持管理を行うことで、適切な知財マネジメントを実施し、4件の特許出願、3件の特許の設定登録、保有する39件の知的財産管理を実施しました。</p> <p><b>【社会連携・貢献機能】</b> 保有する知的財産を企業等へ11件（継続含む）実施許諾又は譲渡し、研究成果を社会還元しました。</p> <p><b>【研究成果発信機能】</b> コロナ禍において展示会への大々的な出展は見合わせましたが、WEB上で研究シーズ集を継続して公表しました。</p> <p><b>【人材育成機能】</b> 個別発明相談会を密を避ける方法で開催しました。4件の新規相談があり、研究者の知的財産に関する理解を深めるとともに、発明の促進を図りました。また、研</p>

		<p>究リスクマネジメントの一環として利益相反セミナーを開催し、教育研究の高度化に対応した教職員及び学生の育成を図りました。</p> <p><b>【外部機関との有機的な連携機能】</b></p> <p>行政、産業クラスター等主催の連携会議や情報交換会への積極的な参画を通して有機的な連携を図り、産学連携の可能性を模索するとともに、情報収集に努めました。</p> <p><b>【競争的資金(産学連携関係)への組織的な斡旋等獲得支援機能】</b></p> <p>産学連携の初期の段階から外部機関の協力を得つつ研究に参画し、令和3年度いわて戦略的研究開発推進事業の採択に向けて研究者を支援し、採択後においても研究者と連携して産学連携の推進に努めました。</p>
⑳	学生支援体制の推進(キャンパスライフガイド等の見直し)	<p>毎年度全学生に配付している「キャンパスライフガイド」について、内容更新を行い、現状に即したものに改訂しました。また、学生から要望が多かったキャンパス内SGLの利用状況を改善するため、予約システムを更新し、より多くの学生が予約・利用可能となる環境を整備しました。</p>
㉑	学生のキャリアビジョンを拡げ、希望する就職を実現するための支援	<p>事業計画に基づき次のとおり取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全国から届く求人データをいつでも閲覧できるように、資料コーナーや支援システム(求人NAVI)にて情報提供を行いました。</li> <li>・薬剤師・看護師の多様な活躍フィールドと業務内容について学生の理解を深めるため、キャリアガイダンス及び学内外の講師による業種研究講演会を開催しました。その他、薬学部を対象とした企業研究セミナーを開催し、就職活動を円滑に進めるための支援として、企業プロフィール冊子を作成し、学生に配布しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、例年よりも件数が減少しましたが、県内を中心とした事業所におけるインターンシップに学生が参加しました。</li> <li>・今後の支援事業のより一層の充実を図るため、薬学部6学年と看護学部第4学年に対して、在学中の支援に係るアンケート調査を実施しました。</li> <li>・卒業生の就職先情報(転職先も含め)等を収集・把握して、センターホームページへ「卒業生の声」として掲載する等、広報活動につなげています。</li> <li>・コロナ禍における就職支援の一環として、希望者に就職試験におけるWEB上での面接試験の接続環境構築支援を行いました。</li> </ul>
㉒	第63回医学系大学倫理委員会連絡会議	<p>本学が主幹大学(総会長:小川彰理事長)となり、2021年6月4日、5日の二日間に亘り標記会議が開催されました。当日の講演・シンポジウムは、2021年6月30日施行の「生命科学・医学系指針」に関する話題を中心に、全国の各分野における専門家が講演及び討論を行い、活発な情報発信が行われました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、会場及び開催方法(完全WEB対応)の変更対応を余儀なくされましたが、二日間の参加人数は想定を上回る362名となり、配信上のトラブルもなく成功裏に終了しました。</p>
㉓	医療専門学校の入学生確保と国家試験合格率の高位維持	<p><b>【入学生確保に向けた取組】</b></p> <p>2021度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年のような高校訪問活動を展開することはできませんでしたが、進学相談会への参加、各種広報媒体への出稿、ホームページ上での情報発信に力を入れ、受験生の掘り起こしを図りました。オープンキャンパスは全8回を予定通り開催し、66名の参加がありました。また、社会人の資格取得を応援する「専門実践教育訓練給付制度」の活用を促すため、歯</p>

		<p>科助手への周知に努めました。この他「高等教育の修学支援新制度（授業料減免と給付型奨学金）」の対象校に指定されたことにより、本制度を利用して入学する学生が増加した結果、2022年度は36名（うち社会人6名）を確保したものの、入学定員の充足には至りませんでした。</p> <p>【国家試験合格率の高位維持に向けた取組】</p> <p>国試解説書を活用した小テスト、補習講義、年間を通じ計26回に及ぶ模擬試験の実施等、より実践的な国家試験対策に取り組みました。成績下位の学生には早い段階で補習を行い、専門基礎分野の学力定着及び弱点分野克服を目指し、国試直前までマンツーマンで指導に当たりました。教員の手厚いサポートにより、全員が最後までモチベーションを低下させることなく本番に臨み、第31回歯科衛生士国家試験において、8年連続合格率100%を達成しました。</p>
--	--	--

(ウ) 補助事業及び委託事業関係

事業計画		2021年度の実施状況
①	災害対応医療人の育成に向けた取り組み	<p>岩手県からの業務委託を受け、災害医療に携わる人材の育成を目的に「岩手県DMAT 隊員養成研修」「災害医療コーディネーター養成研修」等7件の研修会を開催し、受講者個人のスキルアップだけではなく関係機関の連携強化に寄与することができました。</p> <p>岩手県災害医療人材育成緊急強化事業補助金事業の「日本災害医療ロジスティクス研修」は、2021年9月23日（木）～25日（土）の日程で開催に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、実践研修等は実施せず、eラーニングによる講義形式に変更して実施しました。また、災害医療研修会は、Zoomによるオンライン研修等、感染対策を徹底した上で実施しました。</p>
②	東北メディカル・メガバンク計画	<p>地域住民コホート調査では、詳細3次調査を開始し目標を超える2千2百人の協力を達成するとともに、多角的な追跡調査を実施しました。また、健康調査の結果回付、自治体への結果報告等、地域住民の健康維持・増進や被災地域の健康づくり施策を支援しました。バイオバンク構築では、試料・情報の分譲対象を拡大するとともに、大規模ゲノムコホート連携を推進しました。更に、ゲノム・オミックス解析研究や多因子疾患の遺伝情報回付研究を継続し、個別化予防・医療の実現に向けて取り組みました。</p> <div data-bbox="1134 1290 1453 1529" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">健康調査の様子</p>
③	岩手県ドクターヘリ運航事業	<p>関係医療機関や消防機関との連携の下、安全かつ着実に運航を実施し、岩手県内の高度救急医療の体制強化に貢献しました。また、緊急の医療的処置を要する未熟児・新生児を県内の地域周産期母子医療センターである医療機関との間で施設間搬送することについて、2022年4月の搬送開始に向けて、関係医療機関との訓練を実施しました。</p>
④	岩手県こころのケアセンター事業	<p>岩手県沿岸自治体や医療機関等の関係機関と連携を図り、岩手県復興推進プランの中心課題に位置付けられ、被災住民や自治体職員への個別支援をはじめ、講演会等の人材育成・普及啓発活動等を中心に活動を行いました。発災から11年が経過し被災地のニーズが多様化・個別化し、更に昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大も重なり、メンタルヘルスのリスクが更に増加している状況の中、感染対策を講じながら、個々に寄り添った対応を意識して事業を展開しました。</p> <p>・被災者支援（沿岸7拠点における相談室活動、その他訪問活動等）：個別支援</p>

		<p>対応件数 7,274 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発活動（被災住民を対象とした普及啓発活動、保健師等を対象とした人材育成活動等）：普及啓発研修会等 72 回（参加者 1,288 人）、人材育成等研修会 116 回（参加者 3,104 人）、関係機関との連絡調整 3,125 件</li> <li>大規模災害に対応できる人材の育成：スーパーバイズ 3,048 件、同行訪問 43 件、支援者支援（個別対応） 1,310 件</li> </ul>
⑤	いわてこどもケアセンター運営事業	<p>東日本大震災津波で被災した子供に対するこころのケアを中長期的かつ安定的に行うため、岩手県から事業委託を受け、拠点施設となる「いわてこどもケアセンター」を矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟 1 階に設置し活動しています。</p> <p>医療・教育・福祉等関係機関と連携した専門的、継続的なケアに取り組み、2021 年度の沿岸地域の延べ患者数は 1,992 名でした。</p>

## (エ) 診療関係

事業計画		2021 年度の実施状況
①	医師の時間外労働規制に対する取り組み	<p>事業計画に基づき、次の取り組みを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全診療科から代表者を選出し、出退勤管理システムによる管理を試行しました。1 か月間のトライアルを実施し、その後のアンケート調査の結果、システムによる管理が可能と判断して 2022 年 4 月から本実施することとしています。試行したデータから、勤務間インターバルによって翌日の診療に影響がある者が複数存在することが明らかになっており、次年度以降に追加的健康確保措置の制度化を進め、対応を図る予定です。</li> <li>自己研鑽の基準について、学内のパブリックコメントの意見を反映して、基準を制定し勤怠管理システムの本実施に併せて施行することとしました。</li> <li>2021 年 8 月に岩手県主催の医師の働き方改革に関する研修会に参加し、所属医師全員に視聴を義務付け、法令の意味と取り組みの意義について啓発しました。</li> <li>医師の業務効率化の取り組みについては、各診療科にアンケート調査を実施して、診療科独自の取り組み事例を病院内で共有するとともに、共通する意見については、次年度以降の重点推進項目として整理し、計画的に取り組むこととしました。</li> <li>タスクシフト/シェアの推進では、診断書作成代行等を行う医師事務作業補助者（Medical Assistant : MA）を 8 名採用しました。MA の運用を通じて、業務の更なる精査・拡充を図るとともに、各診療科からの配置ニーズの高まりを受けて、2022 年度は更に 7 名の MA を増員予定です。また、看護師の特定行為者は 2 名を養成しています。</li> <li>採用後 1 年未満の医師について、育児休業を取得することができなかった制度を見直し、採用年数にかかわらず取得可能とするように改正を行いました。</li> </ul> <p>次年度は、勤怠のシステム管理を軌道に乗せ、計画的にタスクシフト/シェアを実施するとともに、変形労働時間制等の導入を検討し、業務の効率化と弾力的な制度運用の両面から、医師の働き方改革を推進することとしています。</p>

## I 法人の概要

②	病院運用の効率化に向けた取り組みの推進	<p>外来運用及び病棟運用の効率化については、附属病院及び内丸メディカルセンターの紹介窓口を一本化し、開業医や他医療機関からのスムーズな紹介予約体制を構築するとともに、WEB 会議システムを積極的に活用し、退院支援や転院調整等に係る地域医療機関との連携を密に図りました。患者サービスの充実に向けては、患者さんからの投書や意見に対し真摯に対応することで、病院運営の改善に努めるとともに、入院時の日用品や衛生品等のセット化、有料個室利用者への一部サービスの無料化や Wi-Fi 環境の整備等を行いました。また、病院ホームページのリニューアルや広報番組の構成見直しを行い、病院広報の強化を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により面会制限がされる中で、患者さんやご家族へのサービスとしてオンライン面会を新たに実施しました。</p> <p>病院医療情報システムの整備については、電子カルテ関連システムの機能追加やバージョンアップを図るとともに、マイナンバーカードによるオンライン資格認証システムの導入の他、レポートチェックシステムやナビチャートシステム等を導入し、医療事故の防止や業務効率の改善に向けた取り組みを実施しました。</p> <p>医療経費の削減については、SPD 在庫量の可視化及び各部署の不動在庫の適正化に向けた取り組みを実施するとともに、機器保守費用については、契約事業者の一本化による契約金額の削減と保険修理サービスの適用による契約金額の削減を図りました。本取り組みについては、2022 年度も継続して実施していくこととしています。</p>
③	1.5 テスラ MRI 装置の移設	MRI 検査における検査待ち状態の解消及び装置の適正稼働と収益改善に向け、内丸メディカルセンターの 1.5 テスラ MRI 装置 1 台を附属病院に移設しました。
④	内丸メディカルセンター病院機能評価受審に向けた体制整備	<p>医療の質、スタッフの意識向上等、更には患者サービスの向上による新規患者の獲得を目的に内丸メディカルセンターの病院機能評価を受審することとしました。</p> <p>2021 年度は、準備として病院機能評価 WG や医療の質向上委員会等を立ち上げ、体制整備と各部門における改善活動を実施しました。2023 年 1 月の受審に向けて、2022 年度も継続して取り組みます。</p>

### (オ) 管理運営関係

	事業計画	2021 年度の実施状況
①	ガバナンスの向上等による運営基盤の強化	<p>2020 年度に策定した法人の自主行動規範であるガバナンス・コードの実効性をより高めるために、10 月時点で実施状況の点検を行い、その結果は機関会議等で確認の上「2021 年度ガバナンス・コードの実施状況に関する報告書」としてとりまとめ、ホームページで情報公表を行いました。また、中期計画の着実な達成に向けて、10 月時点の取組・進捗状況を中間検証し、その結果については、機関会議等で確認の上、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響や財政状況等も踏まえて本計画の一部見直しを行い、2022 年度事業計画にも反映させることで事業の適切な推進に努めました。</p>
②	勤怠管理システムの導入	<p>労働基準法では、使用者は労働者の労働時間を IC カード等を用いて、適正に把握・管理する責務があると規定されており、本学においても関連法規等を遵守するため、2018 年度以降、移転計画に併せて勤怠管理システムに必要なインフラ整備と職種毎の段階的な導入を進めてきました。2019 年 10 月からは全職員の出勤打刻の記録を開始し、2020 年 1 月事務局全体、2020 年 4 月メディカルスタッフ部門、2020 年 9 月看護部でシステムの運用を開始しています。</p> <p>2021 年度は、医師を含む教育職員の勤怠管理に向けて、医師の働き方改革の社会</p>

		<p>情勢を注視しつつ、附属病院で診療を行う医師への先行導入を見据え、医師の働き方改革プロジェクトミーティングでの議論やトライアル実施を踏まえながら、勤怠管理システムの構築を進めました。</p> <p>なお、勤怠管理システムの導入により、出退勤打刻時間の管理、超過勤務手当計算や休暇処理に掛かる業務の省力化が見込まれます。</p>
③	借入金の返済と借入利息の支払い	<p>附属病院移転に係る支払資金として、2019年度に市中金融機関から借り入れた200億円（返済期間15年）について、借入金元本1,155,000,000円と借入金利息76,876,953円の支払いを行いました。</p>
④	資金計画のための財務分析	<p>創立120周年記念事業内丸地区整備計画の早期実現に向けて新附属病院整備に要した借入金の計画的な清算と事業資金を確保するため、中長期的な資金計画をもとに財政状況ならびに予算・決算への影響等を検討・分析し、課題の抽出・計画の見直し等を行いました。</p>
⑤	本法人保有資産の有効活用	<p><b>【不動産の有効活用に向けた検討】</b></p> <p>保有不動産の活用方針について、関係者と意見交換する等、市場調査を行いました。引き続き大学を取り巻く社会情勢等を見極めながら、検討していきます。</p> <p><b>【物品(機器・備品等)を法人全体で有効活用できる体制の整備】</b></p> <p>各部署で使用しなくなった機器・備品等を学内限定ホームページで公開し、学内での再利用を促進しました（2021年度新規公開件数51件、2021年度供与件数46件）。</p>
⑥	矢巾・内丸学術ネットワーク更新	<p>新型コロナウイルスの影響等により、インターネットを活用した講義や自学自習が安定的に実施可能な、障害に強いネットワーク環境の整備が必要であることから、内丸地区の老朽化した学術ネットワーク機器40台を更新し、高品質・高信頼な情報ネットワークを整備しました。</p>
⑦	内丸メディカルセンター診療系ネットワーク更新	<p>稼働から11年が経過し、機器故障リスクが高いた状態となっていた内丸メディカルセンター診療系ネットワーク機器70台を更新し、高品質・高信頼な情報ネットワークを整備しました。</p>
⑧	セキュアインターネットネットワークゲートウェイの導入、運用	<p>近年増加傾向にあるサイバー攻撃に備えるため、セキュアインターネットゲートウェイの導入を行う計画でしたが、世界的な半導体不足の影響により生産が間に合わなかったため、2022年度に整備を行うこととなりました。なお、サイバー攻撃に対しては、ウイルス感染のモニタリングや情報セキュリティ教育、警察等外部機関との連携を行い対処しています。</p>
⑨	矢巾地区A-C敷地間バックアップ回線整備	<p>矢巾地区A-C敷地の渡り廊下を通る通信ケーブルの損傷に備え、回線の引き込みを実施しました。</p> <p>なお、世界的な半導体不足の影響により、ネットワーク機器の一部が生産できない状態となっているため、整備は2022年度に完了する予定です。</p>
⑩	標準的な内部監査手続きの徹底による法人運営の効率化に資する内部監査の実施	<p>2021年度内部監査計画に基づき、内部監査要領等に定められた監査プロセスに沿って定期監査及び臨時監査を実施しました。全体として概ね良好でしたが、いくつか課題等が見られたことから、その改善方策について監査対象部署との意見交換を実施し、解決に向けた取組について提言等を行い、実施可能な部分から行うこととしました。また、併せて内部監査に関する基本事項の周知や有効性についても啓発活動を行いました。</p>

## (カ) 施設設備関係

事業計画		2021年度の実施状況
①	矢巾キャンパス各棟屋上の冷温水発生機用重油配管更新	矢巾キャンパス動物研究センター、西講義実習棟、マルチメディア教育研究棟屋上に設置している冷温水発生機系統の重油配管は、経年による腐食が進んでおり、漏洩の恐れがあったことから更新を行いました。 更新にあたっては、ステンレス管を採用することで将来的な腐食による漏洩リスクの低減を図りました。
②	内丸キャンパス歯学部冷房用ターボ冷凍機分解整備	内丸キャンパス歯学部の主要冷房熱源設備であるターボ冷凍機は、設置から 39 年、前回の分解整備から 13 年が経過し各部に劣化が発生し、突発的な故障が懸念される状況であり、故障の際は教育・研究・診療活動への影響が大きいことから、安定稼働を目的として分解整備を行いました。
③	内丸キャンパス電気設備修繕(PCB 汚染電気機器取替・廃棄処分)	内丸メディカルセンターの各電気室に設置している変圧器には、PCB を含有している変圧器があり、PCB 特措法により期限内に処分することが義務付けられていることから、該当する 10 号館電気室No.1 レントゲン変圧器の更新及び処分を行いました。 なお、旧東病棟電気室の冷凍機用変圧器については、2020 年度末に PCB 含有製品とともに前倒しで処分しました。
④	矢巾キャンパス図書館災害(図書落下)防止対策	2021 年度は、学生が頻繁に利用し重量のある製本雑誌が配架してある棚板 40 段を傾斜スライド棚に整備しました。
⑤	矢巾町・町道 1 号線の拡幅工事に伴う B 敷地駐車場出入口の盛替工事	2021 年度の実施を予定していましたが、矢巾町の拡幅工事計画が 2022 年度に延期となったため、改めて 2022 年度事業計画に盛り込みました。
⑥	内丸メディカルセンタートイレ修繕	内丸メディカルセンターのトイレは、和式トイレが多く存在し、著しく老朽化が進んでいました。2020 年に行った受療行動調査においてもトイレに関する不満が高く、また、使用後起立に支障を来す事例が発生していたことから、和式トイレの洋式化を進め、患者及びスタッフが安心できる環境を整備しました。

## 9. 主な行事等

### 【令和3年】

- 4月1日 新入職員等辞令交付式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室他）  
 名誉教授称号授与式（矢巾キャンパス本部棟4階大会議室）  
 令和3年度新任教員向け全学教育推進機構FD講習会（オンデマンド配信）  
 歯学部学業奨励奨学金表彰【2～4学年】（矢巾キャンパス）
- 4月3日 岩手医科大学医療専門学校入学式（内丸キャンパス歯学部4階講堂）（歯科衛生学科41名）
- 4月5日 歯学部学業奨励奨学金表彰【5～6学年】（内丸キャンパス）  
 高度看護研修センター 認定看護師教育課程・特定行為教育課程開講式（附属病院10階研修室）
- 4月16日 岩手医科大学入学式（岩手県民会館）  
 大学院：医学研究科博士課程28名・修士課程8名、  
 歯学研究科博士課程12名、  
 薬学研究科博士課程2名  
 学部：医学部123名、歯学部40名、薬学部39名、  
 看護学部91名、医学部編入学生4名、  
 歯学部編入学生2名、看護学部編入学生2名



岩手医科大学入学式

- 4月23日 第20回全学教育推進機構FD講習会（ライブ配信）
- 4月28日 第1回看護学部FD・SDワークショップ（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4階4-A講義室）
- 5月14日 薬学部第5学年白衣授与式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 5月23日 岩手医科大学医療専門学校第1回オープンキャンパス
- 5月31日 第1回薬学部教育研修会（矢巾キャンパス東3-A実習室）
- 6月17日～18日 薬学部学業奨励奨学金奨学生表彰式【2～4、6学年】（矢巾キャンパス）
- 6月23日 看護学部第3学年宣誓式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 6月26日 第84回解剖体慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）  
 岩手医科大学医療専門学校第2回オープンキャンパス
- 7月6日 CBRNE災害研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 7月15日～16日 岩手DMAT隊員養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 7月24日 岩手医科大学医療専門学校第3回オープンキャンパス
- 7月26日～27日 第2回薬学部教員研修会（矢巾キャンパス東4-C実習室）
- 8月5日 学生支援に関するFD・SD（矢巾キャンパス大堀記念講堂）  
 岩手医科大学医療専門学校第4回オープンキャンパス
- 8月6日 第2回看護学部FD・SDワークショップ（矢巾キャンパス大堀記念講堂）  
 災害保健医療従事者研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 8月6日～ 岩手医科大学WEBオープンキャンパスサイト公開
- 8月7日 歯学部第1回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講義室）
- 8月10日 第20回医学教育講演会（オンライン開催）
- 8月28日 大学院歯学研究科前期入学試験  
 岩手医科大学医療専門学校第5回オープンキャンパス

## I 法人の概要

- 9月 7日 岩手医科大学秋季卒業式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）（薬学部 47 名）
- 9月 12日 岩手医科大学医療専門学校第 6 回オープンキャンパス
- 10月 2日 大学院薬学研究科前期入学試験  
岩手医科大学医療専門学校第 7 回オープンキャンパス
- 10月 4日 岩手医科大学医療専門学校ネームプレート交付式（内丸キャンパス歯学部 4 階講堂）
- 10月 18日 歯学部第 2 回教育研修会（内丸キャンパス歯学部 4 階講堂、オンライン開催）
- 10月 23日 岩手医科大学医療専門学校推薦入学試験・社会人 1 期入学試験
- 11月 1日 第 54 回動物慰霊祭（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 11月 5日 医学部第 4 学年白衣授与式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 11月 12日 感染症対策センター整備工事起工式（附属病院敷地内建設予定地）
- 11月 17日 大学院医学研究科入学試験【第 1 回】
- 11月 18日 岩手災害医療ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 11月 19日 第 21 回医学教育講演会（オンライン開催）  
岩手 DMAT ロジスティクス研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 11月 20日 岩手医科大学入学者選抜：学校推薦型選抜（医学部）、総合型選抜（医学部）
- 11月 21日 岩手医科大学入学者選抜：学校推薦型選抜（歯・薬・看護学部）、社会人入学者選抜（薬・看護学部）、帰国子女入学者選抜（薬学部）、編入学者選抜前期（歯学部）、編入学者選抜（看護学部）
- 11月 24日～12月 7日 大学院医学研究科・歯学研究科・薬学研究科合同 教員研修会（動画配信）
- 11月 27日 岩手医科大学医療専門学校一般 1 期・社会人 2 期入学試験
- 11月 30日 第 21 回全学教育推進機構 FD・SD 講習会（オンデマンド配信）
- 12月 2日 広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月 4日 岩手医科大学医療専門学校第 8 回オープンキャンパス
- 12月 5日 災害医療コーディネーター養成研修（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月 10日 第 3 回薬学部教員研修会（オンライン開催）  
災害時における業務継続計画（BCP）訓練等研修会（災害時地域医療支援教育センター）
- 12月 18日 岩手医科大学医療専門学校一般 2 期・社会人 3 期入学試験
- 【令和 4 年】**
- 1月 4日 理事長年頭挨拶（矢巾キャンパス本部棟 4 階大会議室、オンライン配信）
- 1月 19日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜一次（医学部）
- 1月 28日～29日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜二次（医学部）
- 2月 4日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜前期（歯・薬学部）、大学入学共通テスト利用選抜前期（歯学部）
- 2月 7日 岩手医科大学入学者選抜：一般選抜前期（看護学部）
- 2月 8日 大学院歯学研究科中期入学試験
- 2月 15日 岩手医科大学入学者選抜：学士編入学者選抜一次（医学部）
- 2月 18日 大学院医学研究科入学試験【第 2 回】
- 2月 22日 岩手医科大学入学者選抜：学士編入学者選抜二次（医学部）
- 2月 24日 岩手医科大学入学者選抜：転部入学者選抜一次（医学部）

- 2月26日 岩手医科大学医療専門学校一般3期・社会人4期入学試験
- 3月3日 岩手医科大学入学者選抜：転部入学者選抜二次（医学部）
- 3月5日 大学院薬学研究科後期入学試験
- 3月7日 定年退職教授による最終講義（矢巾キャンパス大堀記念講堂）（滝川康裕教授、佐藤宏昭教授、井上義博教授、志賀清人教授、佐々木実教授、坂田清美教授）
- 3月8日 岩手医科大学医療専門学校卒業式（医療専門学校第3講義室）（歯科衛生学科32名）
- 3月9日 看護学部第4学年宣誓式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）
- 3月10日 大学院医学研究科入学試験【第3回】
- 3月11日 岩手医科大学卒業式（矢巾キャンパス大堀記念講堂、ライブ配信）

大学院：医学研究科博士課程8名・修士課程5名

歯学研究科博士課程7名

薬学研究科博士課程2名

学部：医学部128名

歯学部42名

薬学部61名

看護学部91名



岩手医科大学卒業式

- 3月14日 第22回医学教育講演会（オンライン開催）  
岩手医科大学入学者選抜：一般選抜後期（歯・薬・看護学部）、一般選抜追試験（医学部）、  
大学入学共通テスト利用選抜後期（歯学部）、編入学者選抜後期（歯学部）
- 3月15日 歯学部第3回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講義室）
- 3月17日 岩手医科大学医療専門学校一般4期・社会人5期入学試験
- 3月18日 第22回全学教育推進機構FD・SD講習会（オンデマンド配信）
- 3月23日 歯学部第4回教育研修会（内丸キャンパス歯学部4階講義室）  
第3回看護学部FD・SDワークショップ（矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟4階4-A講義室）  
高度看護研修センター 認定看護師教育課程・特定行為教育課程修了式（附属病院10階研修室）
- 3月25日 大学院歯学研究科後期入学試験  
教養教育センターFD・SD（矢巾キャンパス東1-A講義室）
- 3月31日 定年退職者等辞令交付式（矢巾キャンパス大堀記念講堂）  
感染症対策センター竣工  
構造：軽量鉄骨造1階建（544.32㎡）  
機能：新型コロナウイルス感染症重症患者受け入れ専用施設（病床6床、CT撮影室、  
診察室2室、検査室、衛生処理室、スタッフステーション）



CT撮影室（16列CT撮影装置）



病室

## 10. 土地の増減

増減なし

## 11. 建物等の増減

## (1) 建物

増加			<b>544.32 m<sup>2</sup></b>	<b>240,668,045 円</b>
[主な内訳]	1	感染症対策センター新築工事	544.32 m <sup>2</sup>	183,486,018 円
	2	附属病院 MRI 室改修工事	0 m <sup>2</sup>	30,910,536 円
	3	内丸メディカルセンター外来棟トイレ改修工事	0 m <sup>2</sup>	24,813,515 円
	4	矢巾キャンパス西研究棟 2 階統合生理学分野研究室シールドルーム設置工事	0 m <sup>2</sup>	1,046,536 円

## (2) 建物附属設備

増加				<b>343,466,586 円</b>
[主な内訳]	1	感染症対策センター新築工事		208,818,336 円
	2	附属病院 MRI 室改修工事		55,672,980 円
	3	内丸メディカルセンター外来棟トイレ改修工事		44,003,717 円
	4	矢巾キャンパス西研究棟 1 階分子病態解析研究部門改修工事		24,210,672 円
	5	内丸メディカルセンター外来棟トイレ自動ドア装置取付工事		2,970,000 円
	6	内丸地区オンライン資格用ネットワーク構築工事費 (矢巾・内丸)		2,804,687 円
	7	附属病院 5 階膠原病・アレルギー内科分野スプリンクラー設置工事		2,365,000 円

## (3) 構築物

増加				<b>27,879,404 円</b>
[主な内訳]	1	感染症対策センター新築工事 (外構、屋外給排水設備等)		26,132,332 円
減少				<b>△10,030,100 円</b>
[内訳]	1	附属病院駐車場及び通路外構の一部撤去		△7,866,643 円
	2	附属病院排水柵、側溝の一部撤去		△2,163,457 円

## 12. 取得した主な機器備品等

(1) 医学部	368,061,383円		
1 SimMan 3G PLUS	2式	10 全身用X線CT診断装置	1式
2 画像配信サーバ(教育用タワー型)	1式	11 セントラルモニタ CNS-6201	1式
3 全身麻酔装置 Drager Perseus A500	1式	12 エルベ VIO3 高周波手術装置	1式
4 人工呼吸器 HAMILTON-C6	2式	13 超音波診断装置 SONOVISTA GX30	2式
5 大堀記念講堂映像機器(データデータプロジェクター他)	1式	14 人工呼吸器 HAMILTON-C	9式
6 脳波計 Neurofax	1式	15 定置型保育器	2式
7 矢巾キャンパス西講義実習棟実習室液晶ディスプレイ	1式	16 医用テレメータ	1式
8 ゼブラフィッシュ飼育装置	1式	17 大容量冷却遠心機	1式
9 超音波画像診断装置 SONIMAGE MX1 α	1式	18 成人用人工呼吸器 トリロジー-Evo O2	12式
10 陰陽圧飼育ラック	1式	19 分娩監視装置 コロメトリクス170	3式
他		20 送信機	12式
		他	
(2) 歯学部	48,582,333円	(7) 岩手県高度救命救急センター	70,766,023円
1 内丸地区学術情報ネットワーク更新機器等	1式	1 成人用人工呼吸器 Evita V300	4式
2 矢巾キャンパス西講義実習棟実習室液晶ディスプレイ	1式	2 陰圧維持管理装置	2式
3 オーラルスキャナ TRIOS4 Wireless POD	1式	3 エアウェイマネジメントモバイルスコープ	2式
4 ChemiDoc XRS Plus Image Labシステム	1式	4 成人用人工呼吸器 V60ベンチレータAT+	1式
他		5 アコマ人工呼吸器 ART-300	1式
		6 電気手術器 ZERUK-W	1式
		他	
(3) 薬学部	14,411,285円	(8) 附属内丸メディカルセンター(医科)	127,585,744円
1 エンドパット2000	1式	1 内丸地区診療情報ネットワーク更新機器等	1式
2 液体クロマトグラフ用データ処理装置	1式	2 オンライン資格確認システム用機器等	1式
他		3 ロングパルス長期減毛・色素性疾患用レーザー装置	1式
		4 一般X線撮影間接変換FPD装置	1式
		5 超音波診断装置	1式
		6 半導体レーザー装置	1式
		他	
(4) 看護学部	4,817,230円	(9) 附属内丸メディカルセンター(歯科)	14,859,570円
1 感圧測定システム	1式	1 デジタル口内法CR機アルカナミラ	1式
2 吸引シミュレーター	3式	2 歯科用ユニット	1式
他		他	
(5) 教養教育センター	4,790,995円	(10) 医療専門学校	1,342,000円
1 グロースチャンバー	1式	1 スーパークレーブ	1式
2 低温インキュベーター	1式		
他			
		(11) 法人	5,796,230円
		1 矢巾地区予備機サーバ	1式
		他	
(6) 附属病院(医科)	371,058,346円		
1 X線テレビシステム SONIALVISION G4	1式		
2 16列マルチスライスCTスキャナシステム Aquilion Start	1式		
3 汎用人工呼吸器サーボベンチレータシステム	1式		
4 ウォッシュャーディスインフェクター スティールコ	1式		
5 超音波手術器ソノペットiQ	1式		
6 超音波診断装置 Aplio a CUS-AA000	1式		
7 体外循環用血液学的パラメータモニタ	2式		
8 血液浄化装置 TR-2020	2式		
9 オンライン資格確認システム用ルータ	1式		

総額1,032,071,139円の機器備品等を取得しました。

## 13. 国庫補助金および地方公共団体等からの補助金等

(単位:円)

(1) 私立大学経常費補助金	1,636,300,000
1 私立大学等経常費補助金(日本私立学校振興・共済事業団)	1,636,300,000
(2) その他の国庫補助金	883,180,000
1 高等教育の修学支援制度授業料等減免(日本私立学校振興・共済事業団)	43,650,000
2 医療研究開発推進事業費補助金(日本医療研究開発機構)	378,270,000
3 新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金(矢巾)(厚生労働省)	162,000,000
4 新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金(内丸)(厚生労働省)	38,390,000
5 臨床研修費等補助金(歯科医師)(厚生労働省)	21,700,000
6 臨床研修費等補助金(医師)(厚生労働省)	18,850,000
7 両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症小学校休業対応コース)(厚生労働省)	990,000
8 医療関係者研修費等補助金(看護師の特定行為に係る研修事業)(厚生労働省)	950,000
9 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金(厚生労働省)	100,000
10 大学改革推進等補助金(感染症医療人材養成事業)(文部科学省)	101,340,000
11 企業主導型保育事業費補助金(内閣府)	116,740,000
12 認定看護師の特定行為研修受講推進事業補助金(日本看護協会)	200,000
(3) 地方公共団体補助金	1,672,100,000
1 新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費補助金(空床確保、矢巾)(岩手県)	483,190,000
2 ドクターヘリ運航事業補助金(岩手県)	273,140,000
3 高度救命救急センター運営費補助金(岩手県)	256,190,000
4 医学部地域枠に係る教育研究費(岩手県)	225,000,000
5 新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費補助金(空床確保、内丸)(岩手県)	119,970,000
6 周産期母子医療センター運営事業費補助金(岩手県)	78,780,000
7 医療局医学教育研究助成金(岩手県)	60,000,000
8 新型コロナウイルスワクチン個別接種時間外等派遣事業費補助金(矢巾)(岩手県)	23,470,000
9 地域医療研究費補助金(岩手県)	20,000,000
10 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金(岩手県)	18,590,000
11 地域自殺対策強化事業費補助金(岩手県)	11,050,000
12 看護職員等処遇改善事業補助金(岩手県)	10,330,000
13 新型コロナウイルスワクチン個別接種時間外等派遣事業費補助金(内丸)(岩手県)	15,040,000
14 新型コロナウイルスワクチン個別接種促進交付金(内丸)(岩手県)	8,900,000
15 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助金(内丸)(岩手県)	7,240,000
16 私立専修学校専門課程授業料等減免補助金(岩手県)	5,590,000
17 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助金(矢巾)(岩手県)	5,030,000
18 集団接種会場への薬剤師派遣に係る協力金(岩手県)	4,360,000
19 院内保育所運営事業費補助金(岩手県)	3,870,000
20 新型コロナウイルス感染症医療従事者宿泊施設確保事業費補助金(岩手県)	3,060,000
21 新型コロナウイルスワクチン個別接種促進交付金(矢巾)(岩手県)	2,800,000
22 認定看護師育成支援事業費補助金(岩手県)	2,090,000
23 私立専修学校運営費補助金(岩手県)	2,330,000
24 産科医等確保支援事業補助金(岩手県)	1,840,000
25 女性医師就労環境改善事業補助金(岩手県)	1,650,000
26 新人看護職員研修事業費補助金(岩手県)	1,890,000
27 周産期電子カルテ運用事業費補助金(岩手県)	1,390,000
28 認定看護師養成研修事業費補助金(岩手県)	1,180,000
29 新生児医療担当医確保支援事業費補助金(岩手県)	890,000
30 帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金(内丸)(岩手県)	860,000
31 新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設派遣看護職員等確保事業費補助金(岩手県)	720,000
32 岩手県保育対策総合支援事業費補助金(岩手県)	500,000

33	新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費補助金(消毒事業)内丸(岩手県)	310,000
34	結核健康診断費補助金(岩手県)	180,000
35	災害医療人材育成緊急強化事業費補助金(岩手県)	140,000
36	防火訓練等参加支援事業費補助金(岩手県)	50,000
37	病院群輪番制事業費補助金(盛岡市)	6,520,000
38	公的病院等運営事業補助金(小児医療事業)(盛岡市)	6,190,000
39	公的病院等運営事業補助金(救急医療事業)(盛岡市)	3,630,000
40	新型コロナウイルスワクチン接種実施協力金(盛岡市)	4,080,000
41	盛岡市保育所等新型コロナウイルス感染症対策継続支援事業費補助金(盛岡市)	60,000
<b>(4)</b>	<b>受託事業収入(公的機関受託収入)</b>	<b>525,170,000</b>
1	岩手県こころのケアセンター等設置運營業務委託費(岩手県)	336,980,000
2	いわてこどもケアセンター設置運営等業務委託費(岩手県)	52,320,000
3	精神科救急医療施設常時対応施設事業委託費(岩手県)	16,590,000
4	こどもの心の診療ネットワーク事業委託費(岩手県)	14,330,000
5	精神科救急医療施設身体合併症対応施設事業委託費(岩手県)	12,660,000
6	岩手県難病医療連絡協議会設置事業委託費(岩手県)	12,620,000
7	岩手県地域医療支援センター業務委託費(岩手県)	10,210,000
8	岩手県周産期救急搬送コーディネーター事業委託費(岩手県)	10,610,000
9	岩手県肝疾患相談センター運営事業委託費(岩手県)	8,010,000
10	岩手県基幹型認知症疾患医療センター運営事業委託費(岩手県)	7,210,000
11	岩手県心身障がい者(児)歯科診療事業委託費(岩手県)	7,380,000
12	新型コロナウイルス感染症予防接種に係る岩手県専門電話相談業務委託費(岩手県)	6,330,000
13	不妊専門相談センター事業委託費(岩手県)	5,940,000
14	災害時実践力強化事業委託費(岩手県)	4,700,000
15	小児医療遠隔支援業務委託費(岩手県)	4,530,000
16	若年性認知症支援コーディネーター事業委託費(岩手県)	3,510,000
17	宿泊療養施設に係る入所者健康確認等業務委託費(岩手県)	3,350,000
18	岩手県予防接種センター機能推進事業委託費(岩手県)	2,000,000
19	新型コロナウイルス感染症予防接種に係る専門医療体制確保業務委託費(岩手県)	2,000,000
20	肝炎医療コーディネーター養成研修事業委託費(岩手県)	1,900,000
21	岩手県在宅難病患者一時入院事業委託費(岩手県)	500,000
22	災害時における業務継続計画(BCP)訓練等研修会実施業務委託費(岩手県)	440,000
23	エイズ診療に係る医療・介護従事者等研修事業委託費(岩手県)	360,000
24	一時保護委託を要する児童の医療機関への一時保護委託費(岩手県)	290,000
25	エイズ治療中核拠点病院カウンセラー設置事業委託費(岩手県)	230,000
26	先天性代謝異常等検査事業相談業務委託費(岩手県)	170,000
<b>(5)</b>	<b>施設設備補助金</b>	<b>839,140,000</b>
1	新型コロナウイルス感染症等重症病棟整備事業補助金(岩手県)	433,400,000
2	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金(矢巾)(岩手県)	228,640,000
3	新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業補助金(矢巾)(岩手県)	62,780,000
4	岩手県高度救命救急センター設備整備費補助金(岩手県)	50,000,000
5	新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業補助金(内丸)(岩手県)	17,690,000
6	小児医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	11,950,000
7	周産期医療施設設備整備事業費補助金(岩手県)	9,850,000
8	実践的手術手技向上研修実施機関設備整備費補助金(岩手県)	4,630,000
9	ドクターヘリ設置整備費補助金(岩手県)	3,780,000
10	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金(内丸)(岩手県)	2,530,000
11	私立学校情報機器整備費(遠隔授業活用推進事業)補助金(文部科学省)	9,370,000
12	医療提供体制設備整備補助金(オンライン資格確認等事業)(厚生労働省)	4,240,000
13	盛岡市児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症対策水栓改修事業補助金(盛岡市)	280,000

## II 人事の概要

### 1. 主な役職人事

#### 新任

薬学部長	河野 富一	(令和3年4月1日付)
看護学部長	三浦 幸枝	(令和3年4月1日付)
薬学部副学部長	小澤 正吾	(令和3年4月1日付)
看護学部副学部長	遠藤 太	(令和3年4月1日付)
全学教育推進機構長	田島 克巳	(令和3年4月1日付)
附属薬用植物園長	河野 富一	(令和3年4月1日付)
附属薬用植物園副園長	大橋 一晶	(令和3年4月1日付)
学生副部長(看護学部選出)	遠藤 太	(令和3年4月1日付)
総合情報センター長	田中 良一	(令和3年4月1日付)
総合情報センター副センター長	石垣 泰	(令和3年4月1日付)

#### 再任

副学長(歯学部改革担当)・歯学部長・岩手医科大学医療専門学校長	三浦 廣行	(令和3年4月1日付)
学生副部長(歯学部選出)	八重柏 隆	(令和3年4月1日付)

### 2. 主な教職員人事

#### 昇任・任用

医学部内科学講座膠原病・アレルギー内科分野	教授	仲 哲治	(令和3年4月1日付)
医学部小児科学講座	教授	赤坂 真奈美	(令和3年4月1日付)
医学部睡眠医療学科	教授	西島 嗣生	(令和3年4月1日付)
看護学部共通基盤看護学講座	教授	三浦 幸枝	(令和3年4月1日付)
看護学部共通基盤看護学講座	教授	菖蒲澤 幸子	(令和3年4月1日付)
看護学部地域包括ケア講座	教授	遠藤 太	(令和3年4月1日付)
医学部産婦人科学講座	特任教授	小山 理恵	(令和3年4月1日付)
生理学講座病態生理学分野	教授	黒瀬 雅之	(令和3年6月1日付)
医学部小児科学講座	特任教授	石川 健	(令和3年7月1日付)
医学部臨床腫瘍学講座	特任教授	岩谷 岳	(令和4年3月1日付)

#### 退職

医学部内科学講座消化器内科肝臓分野	教授	滝川 康裕	(令和4年3月31日付)
医学部耳鼻咽喉科学講座	教授	佐藤 宏昭	(令和4年3月31日付)
医学部救急・災害・総合医学講座救急医学分野	教授	井上 義博	(令和4年3月31日付)
医学部頭頸部外科学科	教授	志賀 清人	(令和4年3月31日付)
微生物学講座分子微生物学分野	教授	佐々木 実	(令和4年3月31日付)
衛生学公衆衛生学講座	教授	坂田 清美	(令和4年3月31日付)
薬学部病態薬理学講座分子細胞薬理学分野	教授	弘瀬 雅教	(令和4年3月31日付)

### 3. 教職員総数

教職員総数は、年度当初3,027名、年度間の採用者数は307名(内4月1日付採用者262名)、退職者数は301名でした。

## Ⅲ 学事の概要

### 1. 入学者、卒業（修了）者数

学校	学部・学科等	入学定員	入学者※1	卒業（修了）者	学生数※2
岩手医科大学	大学院医学研究科 博士課程	50名	28名	8名	135名
	大学院医学研究科 修士課程	10名	8名	5名	14名
	大学院歯学研究科 博士課程	18名	12名	7名	40名
	大学院薬学研究科 博士課程	3名	2名	2名	10名
	大学院薬学研究科 修士課程	3名	0名	0名	0名
	医学部	126名 ※3	123名	128名	782名
	歯学部	73名	40名	42名	311名
	薬学部	80名	39名	108名 ※5	452名
看護学部	90名 ※4	91名	91名	364名	
医療専門学校	歯科衛生学科	40名	41名	32名	106名

※1 第1学年入学者

※4 第3学年への学士編入学定員（5名）は含めない。

※2 令和3年5月1日現在

※5 秋季卒業生（47名）を含む。

※3 第3学年への学士編入学定員（4名）は含めない。

### 2. 学位授与者数

大学院研究科	博士課程修了者 (甲)	論文提出者 (乙)	修士課程修了者
医学研究科	30名	1名	5名
歯学研究科	7名	0名	0名
薬学研究科	2名	0名	0名

### 3. 文部科学省科学研究費助成事業

238件

271,223,344 円

#### (1) 科学研究費補助金（代表）

①基盤研究 (B)	5件	24,050,000円
原田 英 光 (解剖学講座発生物・再生医学分野 (歯))		1,950,000円
八木 淳 子 (医学部 神経精神科学講座)		1,690,000円
佐々木 真 理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)		5,200,000円
中西 真 弓 (薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		4,940,000円
祖父江 憲 治 (岩手医科大学 学長)		10,270,000円
②奨励研究	1件	340,000円
安野 航 (医歯薬総合研究所 動物研究センター)		340,000円
③特別研究員奨励費	1件	1,560,000円
美 辺 詩 織 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)		1,560,000円

#### (2) 科学研究費補助金（学外分担）

①新学術領域研究(研究領域提案型)『学術研究支援基盤形成』	1件	2,600,000円
清水 厚 志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		2,600,000円
②新学術領域研究(研究領域提案型)『学術研究支援基盤形成』基盤研究 (S)	1件	1,300,000円
片岡 竜 貴 (病理学講座機能病態学分野 (医))		1,300,000円
③基盤研究 (A)	5件	5,980,000円
坂田 清 美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		260,000円
中 隣 克 己 (生理学講座統合生理学分野 (医))		4,680,000円
山下 典 生 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)		260,000円
山下 典 生 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)		390,000円
志 賀 清 人 (医学部 頭頸部外科学科)		390,000円

### Ⅲ 学事の概要

④基盤研究 (B)	11件	3,458,000円
八木 淳子 (医学部 神経精神科学講座)		130,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		520,000円
齊藤 元 (医学部 呼吸器外科学講座)		130,000円
八木 淳子 (医学部 神経精神科学講座)		390,000円
島崎 伸子 (歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)		390,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		130,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		130,000円
清水 厚志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		130,000円
馬場 長 (医学部 産婦人科学講座)		390,000円
江尻 正一 (教養教育センター 情報科学科数学分野)		858,000円
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		260,000円
(3) 学術研究助成基金助成金 (代表)		
①基盤研究 (C)	126件	145,784,344円
伊藤 智範 (医学教育学講座地域医療学分野 (医))		1,040,000円
原田 聡 (医学部 放射線医学講座)		780,000円
事崎 由佳 (いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門)		650,000円
坪田(宇津木) 恵 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		1,040,000円
蛎崎 奈津子 (看護学部 成育看護学講座)		520,000円
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		910,000円
後藤(松元) 奈緒美 (薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)		130,000円
阿久津 仁美 (解剖学講座細胞生物学分野 (医))		650,000円
松尾 泰佑 (薬学部 医療薬科学講座創剤学分野)		1,170,000円
幅野 渉 (薬学部 医療薬科学講座薬物代謝動態学分野)		1,040,000円
東尾 浩典 (教養教育センター 化学科)		1,430,000円
鈴木 喜郎 (生理学講座統合生理学分野 (医))		1,170,000円
及川 浩樹 (病理学講座機能病態学分野 (医))		80,344円
世良田 聡 (医歯薬総合研究所 分子病態解析部門)		1,690,000円
王 挺 (歯学部 口腔医学講座関連医学分野)		910,000円
山下 雅大 (医学部 内科学講座呼吸器内科分野)		390,000円
前田 哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		39,000円
有賀 久哲 (医学部 放射線腫瘍学)		1,040,000円
田村(赤羽) 明生 (医学部 放射線医学講座)		780,000円
藤原 俊朗 (医学部 脳神経外科学講座)		780,000円
藤本 穰 (医学部 内科学講座膠原病・アレルギー内科分野)		1,560,000円
黒田 英克 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		650,000円
滝川 康裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		1,040,000円
佐藤 衛 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		1,690,000円
森野 禎浩 (医学部 内科学講座循環器内科分野)		1,040,000円
前門戸 任 (医学部 内科学講座呼吸器内科分野)		520,000円
古和田 周吾 (医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)		1,430,000円
齊藤 元 (医学部 呼吸器外科学講座)		780,000円
肥田 圭介 (医学部 医療安全学講座)		1,300,000円
遠藤 史隆 (医学部 臨床腫瘍学講座)		1,300,000円
上野 育子 (医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)		910,000円
千田 光平 (医学部 脳神経外科学講座)		910,000円
板持 広明 (医学部 臨床腫瘍学講座)		1,430,000円
入江 太朗 (病理学講座病態解析学分野 (歯))		1,040,000円
小守林 靖一 (医学部 岩手県高度救命救急センター)		1,170,000円
小林 琢也 (歯学部 補綴・インプラント学講座摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野)		780,000円
一ノ渡 学 (看護学部 看護専門基礎講座)		1,430,000円
大間々 真一 (医学部 救急・災害・総合医学講座総合診療医学分野)		1,170,000円
遠藤 太 (看護学部 地域包括ケア講座)		312,000円
熊地 美枝 (看護学部 地域包括ケア講座)		780,000円
鈴木 享 (生理学講座統合生理学分野 (医))		390,000円
牛島 弘雅 (薬学部 薬科学講座分析化学分野)		1,170,000円
馬場 誠朗 (医学部 外科学講座)		325,000円
柳谷 千枝子 (教養教育センター 外国語学科英語分野)		650,000円
村嶋 亜紀 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		1,170,000円
前沢 千早 (医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)		1,040,000円

菅井有	(医学部 病理診断学講座)	1,300,000円
高橋義彦	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	520,000円
大塚耕太郎	(医学部 神経精神科学講座)	1,170,000円
別府高明	(医学部 脳神経外科学講座)	1,430,000円
石田大	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	1,170,000円
齋木宏文	(医学部 小児科学講座)	1,170,000円
村木靖	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	1,300,000円
大塚幸喜	(医学部 外科学講座)	1,300,000円
岩谷岳	(医学部 臨床腫瘍学講座)	1,300,000円
駒切洋	(生理学講座統合生理学分野 (医))	910,000円
杉山育美	(薬学部 医療薬科学講座創剤学分野)	1,690,000円
赤松洋祐	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
松田豪	(医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)	1,040,000円
加藤陽一郎	(医学部 泌尿器科学講座)	1,040,000円
福島明宗	(医学部 臨床遺伝学科)	260,000円
石崎明	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	1,300,000円
衣斐美歩	(病理学講座病態解析学分野 (歯))	1,040,000円
石河太知	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	910,000円
帖佐直幸	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	1,040,000円
武本真治	(医療工学講座 (歯))	1,300,000円
島崎伸子	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,040,000円
佐藤泰生	(病理学講座病態解析学分野 (歯))	910,000円
間山寿代	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,170,000円
大橋祐生	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	390,000円
須藤洋一	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	1,560,000円
藤田友嗣	(医学部 救急・災害・総合医学講座救急医学分野)	962,000円
塚本恭正	(看護学部 看護専門基礎講座)	520,000円
岩淵光子	(看護学部 地域包括ケア講座)	780,000円
遠藤龍人	(看護学部 看護専門基礎講座)	2,080,000円
下沖収	(医学部 救急・災害・総合医学講座総合診療医学分野)	780,000円
田島吾郎	(医学部 整形外科学講座)	1,170,000円
佐々木章	(医学部 外科学講座)	1,105,000円
諏訪部章	(医学部 臨床検査医学講座)	390,000円
吉田潤	(教養教育センター 化学科)	1,560,000円
山本佳世乃	(医学部 臨床遺伝学科)	910,000円
長谷川大	(教養教育センター 情報科学科数学分野)	1,040,000円
奥村健一	(教養教育センター 物理学科)	1,040,000円
錦織健児	(薬学部 生物薬学講座生体防御学分野)	1,300,000円
阪本泰光	(薬学部 薬科学講座構造生物薬学分野)	1,950,000円
關谷瑞樹	(薬学部 生物薬学講座機能生化学分野)	1,560,000円
大橋一晶	(薬学部 病態薬理学講座臨床医化学分野)	1,300,000円
工藤賢三	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	1,170,000円
木村英二	(解剖学講座人体発生学分野 (医))	1,430,000円
古山和道	(生化学講座分子医化学分野 (医))	1,170,000円
安平進士	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)	1,560,000円
柴崎晶彦	(医歯薬総合研究所 腫瘍生物学研究部門)	1,040,000円
上杉憲幸	(医学部 病理診断学講座)	1,950,000円
片岡竜貴	(病理学講座機能病態学分野 (医))	1,430,000円
西谷直之	(薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)	1,170,000円
西塚哲	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,690,000円
吉岡邦浩	(医学部 放射線医学講座)	2,080,000円
肥田頼彦	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	1,170,000円
天野博雄	(医学部 皮膚科学講座)	2,080,000円
金子桐子	(生化学講座分子医化学分野 (医))	1,170,000円
吉野直人	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	1,430,000円
長谷川豊	(医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	2,340,000円
小笠原邦昭	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
小林正和	(医学部 脳神経外科学講座)	1,560,000円
幸治孝裕	(医学部 脳神経外科学講座)	1,820,000円

### Ⅲ 学事の概要

小原航	(医学部 泌尿器科学講座)	2,600,000円
高田亮	(医学部 泌尿器科学講座)	1,690,000円
馬場長	(医学部 産婦人科学講座)	1,040,000円
菅野智子	(医学部 耳鼻咽喉科学講座)	1,820,000円
黒坂大次郎	(医学部 眼科学講座)	1,560,000円
大津圭史	(解剖学講座発生生物・再生医学分野(歯))	1,560,000円
川井忠	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,560,000円
近藤尚知	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	2,080,000円
田邊昌	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,300,000円
宮本郁也	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	260,000円
齋藤勇起	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,820,000円
黒瀬雅之	(生理学講座病態生理学分野(歯))	1,105,000円
森川和政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	1,170,000円
熊谷美保	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	936,000円
丹野高三	(衛生学公衆衛生学講座(医))	1,690,000円
三枝聖	(教養教育センター 生物学科)	2,080,000円
小野保	(教養教育センター 情報科学科医用工学分野)	1,300,000円
佐藤奈美枝	(看護学部 共通基盤看護学講座)	780,000円
西里真澄	(看護学部 成育看護学講座)	650,000円
大橋(小林)綾子	(薬学部 生物薬学講座生体防御学分野)	1,170,000円
高橋寛	(薬学部 臨床薬学講座地域医療薬学分野)	1,300,000円
<b>②挑戦的研究(萌芽)</b>		<b>1件 780,000円</b>
志賀清人	(医学部 頭頸部外科学科)	780,000円
<b>③若手研究</b>		<b>53件 76,960,000円</b>
三上貴浩	(解剖学講座人体発生学分野(医))	650,000円
西村行秀	(医学部 リハビリテーション医学講座)	520,000円
望月圭	(生理学講座統合生理学分野(医))	390,000円
阿部博和	(教養教育センター 生物学科)	780,000円
高橋宏彰	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	520,000円
横山拓矢	(解剖学講座細胞生物学分野(医))	1,170,000円
加藤廉平	(医学部 泌尿器科学講座)	1,560,000円
中里茉那美	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	1,040,000円
太田麻衣子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野)	1,040,000円
小松祐子	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	910,000円
横田聖司	(生化学講座細胞情報科学分野(歯))	1,040,000円
佐藤俊郎	(歯学部 口腔医学講座予防歯科学分野)	650,000円
藤澤美穂	(教養教育センター 人間科学科心理学・行動科学分野)	650,000円
開勇人	(医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)	1,430,000円
及川公樹	(医学部 脳神経外科学講座)	910,000円
川村花恵	(医学部 産婦人科学講座)	1,040,000円
吉田純	(医学部 脳神経外科学講座)	2,340,000円
村上寿孝	(医学部 脳神経外科学講座)	1,690,000円
鈴木彰子	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	2,080,000円
二宮亮	(医学部 内科学講座循環器内科分野)	650,000円
鍵谷忠慶	(解剖学講座機能形態学分野(歯))	910,000円
鈴木悠地	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,820,000円
前川滋克	(医学部 泌尿器科学講座)	2,860,000円
船内雅史	(医学部 内科学講座膠原病・アレルギー内科分野)	1,950,000円
東修智	(医学部 形成外科学講座)	130,000円
熊上深香	(解剖学講座発生生物・再生医学分野(歯))	1,040,000円
滝沢尚希	(歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野)	910,000円
菅原志帆	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	1,690,000円
高橋宗康	(医学教育学講座医学教育学分野(医))	1,040,000円
小田切崇	(微生物学講座感染症学・免疫学分野(医))	1,040,000円
小野寺直人	(医学部 臨床検査医学講座)	520,000円
藤澤純子	(看護学部 地域包括ケア講座)	260,000円
伊藤由香	(看護学部 成育看護学講座)	130,000円
美辺詩織	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	1,300,000円
赤坂博	(医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)	2,340,000円

六本木 沙 織	(法科学講座法医学分野 (医))	2,210,000円
二 瓶 哲	(薬学部 臨床薬学講座臨床薬剤学分野)	4,420,000円
永 塚 真	(医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)	3,900,000円
二 階 春 香	(医学部 外科学講座)	1,820,000円
瀬 川 昂 史	(医学部 放射線腫瘍学科)	1,690,000円
佐々木 登希夫	(医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)	1,170,000円
荒 川 伸 之	(医学部 皮膚科学講座)	2,340,000円
三 善 健 矢	(医学部 脳神経外科学講座)	2,470,000円
佐 藤 慎 平	(医学部 脳神経外科学講座)	2,470,000円
佐 藤 千 絵	(医学部 産婦人科学講座)	2,730,000円
池 崎 晶二郎	(解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))	1,040,000円
野 尻 俊 樹	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	2,210,000円
嶋 山 航	(歯学部 補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野)	3,250,000円
平 野 大 輔	(歯学部 口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	1,040,000円
菊池(青松) 恵美子	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,690,000円
氏 家 隼 人	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	910,000円
松 本 識 野	(歯学部 口腔保健育成学講座歯科矯正学分野)	1,040,000円
野 里 同	(看護学部 地域包括ケア講座)	1,560,000円

**④研究活動スタート支援 2件 2,470,000円**

高 梨 信 之	(衛生学公衆衛生学講座 (医))	910,000円
木 村 将 大	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	1,560,000円

**(4) 学術研究助成基金助成金 (学外分担)**

**①基盤研究 (C) 28件 3,991,000円**

西 谷 直 之	(薬学部 臨床薬学講座情報薬科学分野)	130,000円
松 政 正 俊	(教養教育センター 生物学科)	130,000円
佐 藤 孝 孝	(病理学講座機能病態学分野 (医))	52,000円
大 塚 耕太郎	(医学部 神経精神科学講座)	390,000円
金 杉 知 宣	(医学部 産婦人科学講座)	520,000円
佐々木 実	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	65,000円
下 山 佑	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	65,000円
下 山 佑	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	39,000円
佐々木 実	(微生物学講座分子微生物学分野 (歯))	39,000円
黒 瀬 雅 之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	39,000円
原 田 英 光	(解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))	52,000円
須 藤 洋 一	(いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門)	104,000円
琵琶坂 仁	(法科学講座法医学分野 (医))	78,000円
西 村 行 秀	(医学部 リハビリテーション医学講座)	390,000円
浅 野 孝 孝	(薬学部 薬科学講座天然物化学分野)	260,000円
三 又 義 訓	(医学部 整形外科学講座)	65,000円
多 田 広 志	(医学部 整形外科学講座)	65,000円
仲 哲 治	(医学部 内科学講座膠原病・アレルギー内科分野)	130,000円
世良田 聡	(医歯薬総合研究所 分子病態解析部門)	130,000円
森 川 和 政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	130,000円
遊 田 由希子	(看護学部 成育看護学講座)	52,000円
刑 部 光 正	(医学部 病理診断学講座)	195,000円
佐々木 真 理	(医歯薬総合研究所 超高磁場MR I 診断・病態研究部門)	260,000円
馬 場 長	(医学部 産婦人科学講座)	65,000円
入 江 太 朗	(病理学講座病態解析学分野 (歯))	130,000円
石 崎 明	(生化学講座細胞情報科学分野 (歯))	130,000円
森 川 和 政	(歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)	65,000円
佐々木 亮 平	(教養教育センター 人間科学科体育学分野)	221,000円

**②挑戦的研究 (萌芽) 2件 650,000円**

黒 瀬 雅 之	(生理学講座病態生理学分野 (歯))	390,000円
原 田 英 光	(解剖学講座発生生物・再生医学分野 (歯))	260,000円

**③国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B)) 1件 1,300,000円**

小田切 崇	(微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))	1,300,000円
-------	------------------------	------------

**4. 厚生労働科学研究費補助金** 18件 20,577,320円

(1) 科学研究費補助金 (代表)		
①長寿科学政策研究事業		
西村 行秀 (医学部 リハビリテーション医学講座)		3,046,000円
(2) 行政推進調査事業費補助金 (分担)		
①肝炎等克服政策研究事業		
滝川 康裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		300,000円
②腎疾患政策研究事業		
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		500,000円
(3) 科学研究費補助金 (分担)		
①難治性疾患等政策研究事業		
松本 主之 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)		187,550円
松本 主之 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)		300,000円
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)		700,000円
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		300,000円
石垣 泰 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)		200,000円
佐藤 宏昭 (医学部 耳鼻咽喉科学講座)		500,000円
古山 和道 (生化学講座分子医化学分野 (医))		500,000円
②腎疾患政策研究事業		
旭 浩一 (医学部 内科学講座腎・高血圧内科分野)		900,000円
③肝炎等克服政策研究事業		
宮坂 昭生 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		1,000,000円
④エイズ対策政策研究事業		
吉野 直人 (微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))		9,585,000円
⑤循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業		
坂田 清美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		680,000円
小笠原 邦昭 (医学部 脳神経外科学講座)		1,000,000円
⑥化学物質リスク研究事業		
村嶋 亜紀 (解剖学講座人体発生学分野 (医))		428,000円
⑦厚生労働科学特別研究事業		
大塚 耕太郎 (医学部 神経精神科学講座)		50,770円
(4) 労災疾病臨床研究事業費補助金 (労災疾病臨床研究事業) (分担)		
黒坂 大次郎 (医学部 眼科学講座)		400,000円

**5. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)** 26件 132,497,887円

(1) 委託事業 (代表)		
①革新的がん医療実用化研究事業		
仲 哲治 (医学部 内科学講座膠原病・アレルギー内科分野)		89,050,000円
(2) 委託事業 (分担)		
①臨床研究・治験推進研究事業		
伊藤 薫樹 (医学部 内科学講座血液腫瘍内科分野)		485,720円
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)		390,000円
高橋 史朗 (教養教育センター 情報科学科医用工学分野)		13,767円
②免疫アレルギー疾患実用化研究事業		
松本 主之 (医学部 内科学講座消化器内科消化管分野)		650,000円
③難治性疾患実用化研究事業		
小笠原 邦昭 (医学部 脳神経外科学講座)		260,000円
佐々木 真理 (医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門)		5,200,000円
④医薬品等規制調和・評価研究事業		
小松 恵 (看護学部 共通基盤看護学講座)		455,000円
小松 恵 (看護学部 共通基盤看護学講座)		350,000円
⑤戦略的国際脳科学研究推進プログラム		
佐々木 真理 (いわて東北メディカル・メガバンク機構)		5,200,000円

⑥成育疾患克服等総合研究事業		
羽場 巖 (医学部 産婦人科学講座)		390,000円
清水 厚志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		845,000円
⑦肝炎等克服実用化研究事業 (肝炎等克服緊急対策研究事業)		
滝川 康裕 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		1,170,000円
⑧新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業		
高橋 史朗 (教養教育センター 情報科学科医用工学分野)		130,000円
高橋 史朗 (教養教育センター 情報科学科医用工学分野)		650,000円
⑨医療研究開発革新基盤創成事業		
高橋 史朗 (教養教育センター 情報科学科医用工学分野)		413,400円
⑩認知症研究開発事業		
前田 哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		13,000,000円
⑪次世代がん医療創生研究事業		
前門戸 任 (医学部 内科学講座呼吸器内科分野)		1,300,000円
⑫革新的先端研究開発支援事業		
前田 哲也 (医学部 内科学講座脳神経内科・老年科分野)		3,900,000円
⑬革新的がん医療実用化研究事業		
櫻庭 実 (医学部 形成外科学講座)		195,000円
秋山 有史 (医学部 外科学講座)		260,000円
別府 高明 (医学部 脳神経外科学講座)		260,000円
馬場 長 (医学部 産婦人科学講座)		390,000円
志賀 清人 (医学部 頭頸部外科学科)		390,000円
世良田 聡 (医歯薬総合研究所 分子病態解析部門)		5,850,000円
清水 厚志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		1,300,000円

## 6. その他公的機関受託研究等

16件

34,680,596円

(1) 独立行政法人日本学術振興会 (代表、二国間交流事業 (中国との共同研究 (NSFC)))		
長谷川 豊 (医学部 内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)		1,425,000円
(2) 国立がん研究センター (分担)		
①多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究		
坂田 清美 (衛生学公衆衛生学講座 (医))		3,200,000円
②分子疫学コンソーシアムを活用したがんの原因究明に資する確固たるエビデンスの構築		
清水 厚志 (医歯薬総合研究所 生体情報解析部門)		2,000,000円
(3) 岩手県 (分担、代表)		
①いわて戦略的研究開発推進事業 (応用研究ステージ) (分担)		
西塚 哲 (医歯薬総合研究所 医療開発研究部門)		1,479,685円
②いわて戦略的研究開発推進事業 (シーズ育成ステージ) (代表)		
黒瀬 雅之 (生理学講座病態生理学分野 (歯))		2,991,450円
③産学官連携による新型コロナウイルス等対策研究開発事業 (代表)		
石川 健 (医学部 小児科学講座)		1,885,837円
村木 靖 (微生物学講座感染症学・免疫学分野 (医))		2,000,000円
武本 真治 (医療工学講座 (歯))		1,998,911円
(4) 環境再生保全機構 (代表、環境研究総合推進費 革新型研究開発若手枠)		
阿部 博和 (教養教育センター 生物学科)		5,379,101円
(5) 農林水産技術会議 (分担、農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究「脱炭素・環境対応プロジェクト」)		
松政 正俊 (教養教育センター 生物学科)		930,000円
(6) 厚生労働省 (分担、慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業)		
大畑 光彦 (医学部 麻酔学講座)		712,000円
(7) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター (分担、国際医療研究開発費)		
柿坂 啓介 (医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野)		500,000円
(8) 青森県 (代表、青森県量子科学センター委託研究事業)		
小林 正和 (医学部 脳神経外科学講座)		3,199,612円
寺崎 一典 (医歯薬総合研究所 高エネルギー医学研究部門)		2,002,000円
佐々木 敏秋 (医歯薬総合研究所 高エネルギー医学研究部門)		2,977,000円
(9) 公益財団法人JKA (代表、嚥下障害者への安全な食提供に繋げる“トロミ度”検出機器開発補助事業)		
齋藤 桂子 (歯学部 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野)		2,000,000円

## 7. 解剖体慰霊祭および解剖体数

令和3年6月26日（土）に解剖体慰霊祭を矢巾キャンパス大堀記念講堂で行いました。

- (1) 慰霊祭の対象者数：病理解剖26霊、正常解剖73霊、実践的手術手技向上研修9霊
- (2) 本年度の解剖体数：病理解剖17体、正常解剖59体、実践的手術手技向上研修8体

## 8. 白寿会員数

- (1) 会員数（生存者）
  - 令和3年度入会者60人（総会員数1,402人）
- (2) 献体者数
  - 令和3年度献体者61人（総献体者数1,876人）

## 9. 海外出張者数（延べ人数）

医学部	0人
歯学部	0人
薬学部	0人
看護学部	0人
教養教育センター	0人

## 10. 国家試験成績

学校	学部・学科等	国家試験	受験者 (新卒) [既卒]	合格者 (新卒) [既卒]	合格率 (新卒) [既卒]	全国平均 (新卒) [既卒]
岩手医科大学	医学部	第116回医師国家試験	143名	129名	90.2%	91.7%
		実施：令和4年2月5日～6日 発表：令和4年3月16日	(128名) [15名]	(123名) [6名]	(96.1%) [40.0%]	(95.0%) [54.0%]
	歯学部	第115回歯科医師国家試験	67名	35名	52.2%	61.6%
		実施：令和4年1月29日～30日 発表：令和4年3月16日	(42名) [25名]	(27名) [8名]	(64.3%) [32.0%]	(77.1%) [35.6%]
	薬学部	第107回薬剤師国家試験	185名	92名	49.7%	68.0%
		実施：令和4年2月19日～20日 発表：令和4年3月24日	(61名) [124名]	(55名) [37名]	(90.2%) [29.8%]	(85.2%) [40.8%]
	看護学部	第111回看護師国家試験	93名	93名	100.0%	91.3%
実施：令和4年2月13日 発表：令和4年3月25日		(90名) [3名]	(90名) [3名]	(100.0%) [100.0%]	(96.5%) [38.9%]	
第108回保健師国家試験		20名	20名	100.0%	89.3%	
	実施：令和4年2月11日 発表：令和4年3月25日	(20名) [ - ]	(20名) [ - ]	(100.0%) [ - ]	(93.0%) [26.8%]	
	第105回助産師国家試験	11名	11名	100.0%	99.4%	
	実施：令和4年2月10日 発表：令和4年3月25日	(11名) [ - ]	(11名) [ - ]	(100.0%) [ - ]	(99.7%) [54.5%]	
岩手医科大学 医療専門学校	歯科衛生学科	第31回歯科衛生士国家試験	32名	32名	100.0%	95.6%
		実施：令和4年3月6日 発表：令和4年3月25日	(32名) [ - ]	(32名) [ - ]	(100.0%) [ - ]	[ - ] [ - ]

## IV 附属病院の概要

## 1. 患者数

区 分			患者数 (人)		一日平均 (人)		
			令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	
入院患者	附属病院	附属病院 (医科)	265,195	280,191	727	768	
		高度救命救急センター	15,676	18,700	43	51	
		歯科	3,325	3,127	9	9	
		小 計	284,196	302,018	779	828	
	附属内丸メディカルセンター (医科)	4,243	7,212	12	20		
合 計			288,439	309,230	791	848	
外来患者	附属病院	附属病院 (医科)	新来	7,543	8,335	28	31
			再来	141,312	155,587	529	585
			計	148,855	163,922	557	616
		高度救命救急センター		2,339	2,458	9	9
		歯科	新来	1,919	2,024	7	8
			再来	10,538	9,295	39	35
	計		12,457	11,319	46	43	
	小 計		163,651	177,699	612	668	
	附属内丸メディカルセンター	医科	新来	17,789	19,020	67	72
			再来	200,038	217,484	749	818
			計	217,827	236,504	816	890
		歯科医療センター	新来	5,598	5,357	21	20
			再来	85,717	87,393	321	329
計			91,315	92,750	342	349	
小 計		309,142	329,254	1,158	1,239		
合 計			472,793	506,953	1,770	1,907	

- ・ 入院患者数は在院患者数（24時現在の患者数）に退院患者数を加算した延べ患者数である。
- ・ 外来患者数には入院者外来数は含まない。

## 2. 救急患者取扱件数

区 分		令和2年度	令和3年度
附属病院	附属病院 (医科)	6,352	6,725
	高度救命救急センター	3,961	4,285
	歯科	397	458
	合 計	10,710	11,468

## 3. 分娩件数

令和2年度	令和3年度
286	293

## 4. アイバンク登録者数

登録者	16人(10,972人)	
角膜提供者	1人(1,129人)	
被角膜移植者	0人(1,414人)	( ) 内は総数

## 5. 手術件数および死亡者数

区 分		手術件数		死亡者数	
		令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
附属病院	附属病院 (医科)	7,743	8,219	411	478
	高度救命救急センター	455	519	11	56
	歯科	344	340	1	0
	小 計	8,542	9,078	423	534
附属内丸メディカルセンター	医科	1,358	1,442	0	0
	歯科医療センター			0	0
	小 計	1,358	1,442	0	0
合 計		9,900	10,520	423	534

## V 財務の概要

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症における感染力の強い変異株の出現により、大学財政状況に与える影響等の見通しが困難となり、計画の一部延長も余儀なくされました。このような状況下で、本学は教育・研究・医療の活性化と質的向上を目指し、内丸メディカルセンターの改修工事、感染症対策センターを建設しました。また、補助金や研究費などの外部資金の積極的な獲得による本学の財政基盤の更なる強化に努めました。

事業活動収入合計は前年度より約42億円増加の564億3,413万円を計上しました。主な増加要因は、医療収入が前年度より約39億円増加の396億7,283万円を計上したことが挙げられます。補助金収入は、経常費等補助金が減少した一方、施設設備補助金が約1億円増加し施設設備補助金合計で8億3,912万円を計上しました。

事業活動支出合計は、前年度より約11億円増加の578億6,854万円を計上しました。特別支出が減少した一方、医療経費が前年度より約16億円増加の177億454万円を計上したことなどが一因として挙げられます。

以上により、当期決算は、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より約30億円増加の△14億3,442万円となり、矢巾附属病院関連等の基本金組入額△13億9,864万円を計上したことにより、当年度収支差額は△28億3,306万円となりました。

### 1. 事業活動収支

#### (1) 事業活動収入

事業活動収入の合計額564億3,413万円は、前年度比41億5,619万円(8.0%)増加、予算比では18億2,363万円(3.3%)上回りました。

区分別では、教育活動収入合計551億7,957万円は前年度比37億5,556万円(7.3%)増加、教育活動外収入合計364万円は前年度比53万円(12.8%)減少、特別収入合計12億5,092万円は前年度比4億117万円(47.2%)増加しました。

- ① 学生生徒等納付金75億3,013万円は、前年度比4億3,204万円(5.4%)減少しました。主な減少要因は、学生数の減少によるものです。

各学部等の内訳は次のとおりです。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
授業料	20億 1,236万円	8億 16万円	5億 6,147万円	3億 6,250万円
入学金	4億 650万円	3,000万円	1,575万円	3,000万円
実験実習費	3億 9,044万円	196万円	8,069万円	5,970万円
教育充実費	10億 2,450万円	2億 9,360万円	—	—
施設整備費	7億 9,710万円	3億 1,100万円	1億 7,140万円	9,100万円
計	46億 3,090万円	14億 3,672万円	8億 2,931万円	5億 4,320万円
	医療専門学校	計		
授業料	5,300万円	37億 8,949万円		
入学金	1,050万円	4億 9,275万円		
実験実習費	2,650万円	5億 5,929万円		
教育充実費	—	13億 1,810万円		
施設整備費	—	13億 7,050万円		
計	9,000万円	75億 3,013万円		

②医療収入 396億 7,283万円は、前年度比 39億 1,940万円（11.0%）増加しました。

附属病院（医科）、内丸メディカルセンター（医科）を合計した医科部門の医療収入は前年度比 38億 5,959万円（11.1%）の増加、附属病院（歯科）、内丸メディカルセンター（歯科）を合計した歯科部門の医療収入は前年度比 5,982万円（5.5%）の増加となりました。

病院別の医療収入内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
入院収入	263億 4,458万円	2億 578万円	6億 496万円	—	271億 5,532万円
外来収入	66億 7,544万円	6,825万円	46億 3,890万円	8億 7,211万円	122億 5,470万円
その他の医療収入	2億 221万円	215万円	5,722万円	123万円	2億 6,281万円
計	332億 2,223万円	2億 7,618万円	53億 108万円	8億 7,334万円	396億 7,283万円

③補助金合計額は、50億 3,069万円の前年度比 3億 3,477万円（6.2%）減少しました。

区別では、教育活動収入の経常費等補助金 41億 9,157万円は前年度比 4億 3,854万円（9.5%）減少し、国庫補助金として私立大学等経常費補助金 16億 3,630万円、医療研究開発推進事業費補助金（いわて東北メディカル・メガバンク機構）3億 7,827万円等、地方公共団体補助金として入院施設等確保事業費補助金（空床確保事業）4億 8,319万円、ドクターヘリ運航事業補助金 2億 7,314万円等がありました。

特別収入の施設設備補助金 8億 3,912万円は前年度比 1億 378万円（14.1%）増加し、地方公共団体

補助金として重症病棟整備事業補助金（岩手県）4億3,340万円、入院医療機関設備整備事業補助金（岩手県）2億2,864万円等がありました。

## （2）事業活動支出

事業活動支出の合計額578億6,854万円は、前年度比11億3,009万円（2.0%）増加、予算比では13億7,920万円（2.4%）上回りました。

区分別では、教育活動支出合計575億5,485万円は前年度比19億4,248万円（3.5%）増加、特別支出合計2億3,681万円は前年度比8億1,127万円（77.4%）減少しました。

教育活動外支出は、7,688万円を計上しました。

①人件費229億6,636万円は、前年度比1億1,323万円（0.5%）増加しました。

給与、賞与、所定福利費の合計214億3,821万円は、前年度比116万円（0.01%）減少と概ね横ばいを示し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計14億7,155万円は、前年度比1億1,659万円（8.6%）増加しました。

②医療経費177億454万円は、前年度比15億8,050万円（9.8%）増加しました。

医薬品費は、前年度比8億4,327万円（10.3%）の増加、医療材料費は7億4,551万円（9.6%）の増加、給食材料費は828万円（3.8%）減少しました。

医療収入に対する医療経費割合は44.6%となり、前年度より0.5%減少しました。

病院別の医療経費内訳は次のとおりです。

	附属病院(医科)	附属病院(歯科)	内丸メディカルセンター(医科)	内丸メディカルセンター(歯科)	計
医薬品費	68億6,636万円	1,031万円	21億2,100万円	624万円	90億391万円
(対医療収入比)	(20.7%)	(3.7%)	(40.0%)	(0.7%)	(22.7%)
医療材料費	76億8,554万円	520万円	6億2,888万円	1億7,342万円	84億9,304万円
(対医療収入比)	(23.1%)	(1.9%)	(11.9%)	(19.9%)	(21.4%)
給食材料費	1億9,939万円	257万円	563万円	—	2億759万円
(対医療収入比)	(0.6%)	(0.9%)	(0.1%)	—	(0.5%)
計	147億5,129万円	1,808万円	27億5,551万円	1億7,966万円	177億454万円
(対医療収入比)	(44.4%)	(6.5%)	(52.0%)	(20.6%)	(44.6%)

③消耗品費8億627万円は、前年度比8,036万円（9.1%）減少しました。

④光熱水費は、重油料3億3,098万円、ガス料3億897万円、電気料6億9,439万円、水道料1億3,650万円、合計14億7,084万円となり前年度比9,989万円（7.3%）増加しました。

- ⑤修繕費は、施設修繕費 2 億 3,028 万円、機器備品修繕費 1 億 9,371 万円、合計 4 億 2,399 万円となり前年度比 4,069 万円（10.6%）増加しました。
- ⑥業務委託費 57 億 5,538 万円は、前年度比 1 億 4,501 万円（2.6%）増加しました。  
病院別では、附属病院（医科）34 億 2,651 万円、附属病院（歯科）975 万円、内丸メディカルセンター（医科）8 億 9,627 万円、内丸メディカルセンター（歯科）1 億 3,992 万円、その他 12 億 8,293 万円です。
- ⑦福利費 2 億 7,138 万円は、学生福利費 3,485 万円、職員福利費 2 億 3,653 万円であり、健康診断経費等です。
- ⑧減価償却額 58 億 2,064 万円は、前年度より 2,060 万円減少しました。
- ⑨公租公課 2 億 1,207 万円は、消費税 1 億 4,895 万円、法人税・事業税 2,207 万円、固定資産税・都市計画税 3,787 万円等です。
- ⑩借入金利息により 7,688 万円を計上しました。
- ⑪資産処分差額 2 億 3,681 万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。

## 2. 資本収支

### (1) 資産の部

- ①施設関係支出 6 億 1,201 万円は、感染症対策センター建設による 3 億 9,230 万円等です。
- ②設備関係支出 8 億 5,980 万円は、教育研究用機器備品 8 億 4,200 万円等です。
- ③第 2 号基本金引当特定資産は、総合移転整備事業資金として 2 億円を積み立てました。
- ④貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料 8 億 5,372 万円、歯科貴金属 874 万円、合計 8 億 6,246 万円です。

### (2) 負債、純資産の部

- ①退職給与引当金残高は 136 億 3,131 万円です。
- ②前受金残高 13 億 3,367 万円は、令和 4 年度入学生の学生生徒等納付金等です。
- ③預り金残高 6 億 8,192 万円は、源泉所得税 5,823 万円、県市町村民税 1 億 973 万円、私学共済掛金 1 億 5,085 万円等です。
- ④基本金は 13 億 9,864 万円を組入れし、1,347 億 7,712 万円となりました。
- ⑤当年度収支差額△28 億 3,306 万円と前年度繰越収支差額△482 億 8,183 万円を合計した翌年度繰越収支差額は、△511 億 1,489 万円となりました。
- ⑥純資産の部合計（基本金+繰越収支差額）は、前年度より 14 億 3,442 万円減少し、836 億 6,224 万円となりました。
- ⑦令和 3 年度末現在で作成する財産目録純資産額（資産総額－負債総額）は 836 億 6,224 万円です。

※各科目の説明等は 58 ページ以降に記載しています。

### 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

#### (1) 経営状況の分析

日本私立学校振興・共済事業団が公表している「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(※)」に当期決算を当てはめた結果、イエローゾーン(経営上看過できない兆候が見られるが、学校法人自ら経営改革努力を行うことにより経営改善が可能な状態)の予備的段階である「B0」区分に該当します。

令和3年度においては新型コロナウイルスの感染拡大、感染力の強い変異株の出現等により本学財政状況に与える影響が大きかった中で、医療収入は前年度比増収と堅調に推移してきており、矢巾附属病院と内丸メディカルセンターそれぞれの資産を最大限活用していくことで資金収支上は順調に資金を確保していくことが可能な状態です。

#### ※定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

教育研究活動のキャッシュフローを基礎に、外部負債と運用資産の状況により学校法人の経営状態を区分したものです。A1～D3の14区分のうち、A3以上が正常な経営状態となります。

#### (2) 経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

近年の社会情勢は、大学の増加や18歳人口の減少により大学淘汰の時代が到来しています。医・歯・薬・看護学部を有する医療系総合大学として教育研究の更なる発展と大学の社会的責任を遂行するためには、入学定員充足による学生生徒納付金の安定確保が不可欠です。

また、内丸メディカルセンター新棟の早期建設に向けた積立計画を着実に実行していくためには、大学ガバナンスの向上による大学運営基盤の強化に努め、より一層の質の向上と安定した医療収入の更なる増収等を図るとともに、業務の効率化やコストを削減していくことで、安定した財政基盤の堅持に努めてまいります。

4. 令和3年度事業活動収支計算書

		<収入の部>		<支出の部>		(単位：千円)	
区分	科目	金額		科目	金額		
教育活動 収入 支	1. 学生生徒等納付金	7,530,131		1. 人件費	22,966,360		
	(1) 授業料	3,789,493		(1) 教員人件費	5,981,003		
	(2) 入学金	492,750		(2) 職員人件費	15,457,210		
	(3) 実験実習費	559,288		(3) 役員報酬	56,600		
	(4) 教育充実費	1,318,100		(4) 退職金	154,007		
	(5) 施設整備費	1,370,500		(5) 退職給与引当金繰入額	1,317,540		
	2. 手数料	164,332		2. 諸経費	34,588,492		
	3. 医療収入	39,672,833		(1) 医療経費	17,704,541		
	(1) 入院収入	27,155,323		(2) 消耗品費	806,273		
	(2) 外来収入	12,254,701		(3) 光熱水費	1,470,840		
	(3) その他の医療収入	262,809		(4) 旅費	35,964		
	4. 寄付金	1,135,204		(5) 印刷製本費	105,858		
	(1) 特別寄付金	335,475		(6) 通信費	101,205		
	(2) 一般寄付金	795,634		(7) 交通運搬費	57,122		
	(3) 現物寄付	4,095		(8) 洗濯費	66,665		
	5. 経常費等補助金	4,191,566		(9) 修繕費	423,992		
	(1) 私立大学等経常費補助金	1,636,304		(10) 諸会費	87,334		
	(2) その他の国庫補助金	883,190		(11) 賃借料	703,322		
	(3) 地方公共団体補助金	1,672,072		(12) 業務委託費	5,755,376		
	6. 付随事業収入	1,312,364		(13) 福利費	271,376		
	(1) 補助活動収入	150,004		(14) 減価償却額	5,820,638		
(2) 受託事業収入	1,117,017		(15) 公租公課	212,072			
(3) 附属事業収入	20,669		(16) その他	965,914			
(4) 保育料等収入	24,674						
7. 雑収入	1,173,144						
	A 教育活動収入計	55,179,574		E 教育活動支出計	57,554,852		
収入 活動外	8. 受取利息配当金	3,637		3. 借入金等利息	76,877		
	B 教育活動外収入計	3,637		F 教育活動外支出計	76,877		
特別 収入 支	9. 資産売却差額	0		4. 資産処分差額	236,813		
	10. その他の特別収入	1,250,915		5. その他の特別支出	0		
	(1) 施設設備寄付金	226,002		(1) 過年度修正額	0		
	(2) 施設設備現物寄付	184,745					
	(3) 施設設備補助金	839,122					
	(4) 過年度修正額	1,046					
	C 特別収入計	1,250,915		G 特別支出計	236,813		
	D 事業活動収入計	56,434,126		H 事業活動支出計	57,868,542		

① 教育活動収支差額 (A-E)	△ 2,375,278	⑥ 基本金組入額合計	△ 1,398,641
② 教育活動外収支差額 (B-F)	△ 73,240	⑦ 当年度収支差額 (⑤+⑥)	△ 2,833,057
③ 経常収支差額 (①+②)	△ 2,448,518	⑧ 前年度繰越収支差額	△ 48,281,828
④ 特別収支差額 (C-G)	1,014,102	⑨ 翌年度繰越収支差額 (⑦+⑧)	△ 51,114,885
⑤ 基本金組入前当年度収支差額 (D-H)	△ 1,434,416		

5. 令和3年度資金収支計算書

<収入の部>		<支出の部>	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 学生生徒等納付金収入	7,530,131	1. 人件費支出	22,857,512
2. 手数料収入	164,332	(1) 教員人件費支出	5,981,003
3. 寄付金収入	1,357,112	(2) 職員人件費支出	15,457,210
(1) 特別寄付金収入	561,478	(3) 役員報酬支出	56,600
(2) 一般寄付金収入	795,634	(4) 退職金支出	1,362,699
4. 補助金収入	5,030,687	2. 諸経費支出	28,739,826
(1) 国庫補助金収入	2,533,097	(1) 医療経費支出	17,693,213
(2) 地方公共団体補助金収入	2,497,590	(2) 一般教育研究経費支出	7,866,466
5. 資産売却収入	28	(3) 管理経費支出	3,180,147
6. 付随事業収入	1,312,364	3. 借入金等利息支出	76,877
7. 医療収入	39,672,833	4. 借入金等返済支出	1,155,000
8. 受取利息・配当金収入	3,637	5. 施設関係支出	612,014
9. 雑収入	1,174,190	(1) 建物支出	584,135
10. 前受金収入	1,333,665	(2) 構築物支出	27,879
11. その他の収入	9,716,078	6. 設備関係支出	859,799
(1) 前期末未収入金収入	9,000,427	(1) 教育研究用機器備品支出	841,996
(2) 預り金受入等収入	715,651	(2) その他の設備関係支出	17,803
12. 資金収入調整勘定	△ 10,890,129	7. 資産運用支出	500,200
13. 前年度繰越支払資金	9,233,373	8. その他の支出	4,640,843
		(1) 前期末未払金支払支出	3,889,514
		(2) 預り金支払等支出	751,329
		9. 資金支出調整勘定	△ 3,535,397
		10. 翌年度繰越支払資金	9,731,627
収入の部合計	65,638,301	支出の部合計	65,638,301

## 6. 貸借対照表

令和4年3月31日

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	本 年 度 末	科 目	本 年 度 末
固定資産	101,560,334	固定負債	30,960,874
有形固定資産	92,721,167	長期借入金	17,305,000
土地	10,347,240	退職給与引当金	13,631,307
建物	64,815,451	長期未払金	24,567
構築物	2,697,401	流動負債	7,038,373
教育研究用機器備品	11,724,649	短期借入金	1,540,000
管理用機器備品	117,300	未払金	3,482,793
図書	3,001,669	業者未払金	2,498,752
車両	17,457	その他の未払金	984,041
特定資産	8,603,997	前受金	1,333,665
第2号基本金引当特定資産	4,600,000	授業料	374,575
第3号基本金引当特定資産	403,997	入学金	462,475
退職給与引当特定資産	2,700,000	実験実習費	60,415
償却資産引当特定資産	900,000	教育充実費	275,400
その他の固定資産	235,170	施設整備費	130,275
電話加入権	6,773	その他の前受金	30,525
敷金・保証金・預託金	1,753	預り金	681,915
有価証券	51,540	源泉徴収所得税	58,232
施設利用権	101,333	县市町村民税	109,726
奨学金	49,530	私学共済掛金	150,850
ソフトウェア	15,181	その他の預り金	363,107
貸付金	9,060	負債の部合計	37,999,247
流動資産	20,101,152	<b>純資産の部</b>	
現金預金	9,731,627	基本金	134,777,124
未収入金	9,441,762	繰越収支差額	△ 51,114,885
貯蔵品	862,458	純資産の部合計	83,662,239
前払金	48,604		
仮払金	16,701		
資産の部合計	121,661,486	負債及び純資産の部合計	121,661,486

注記 ・退職給与引当金の額の算定は、次のとおりです。

期末要支給額12,703,444,265円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上しています。

・減価償却額の累計額の合計額 50,225,330,319円

・翌年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 17,421,397,571円

## 7. 医療収入内訳

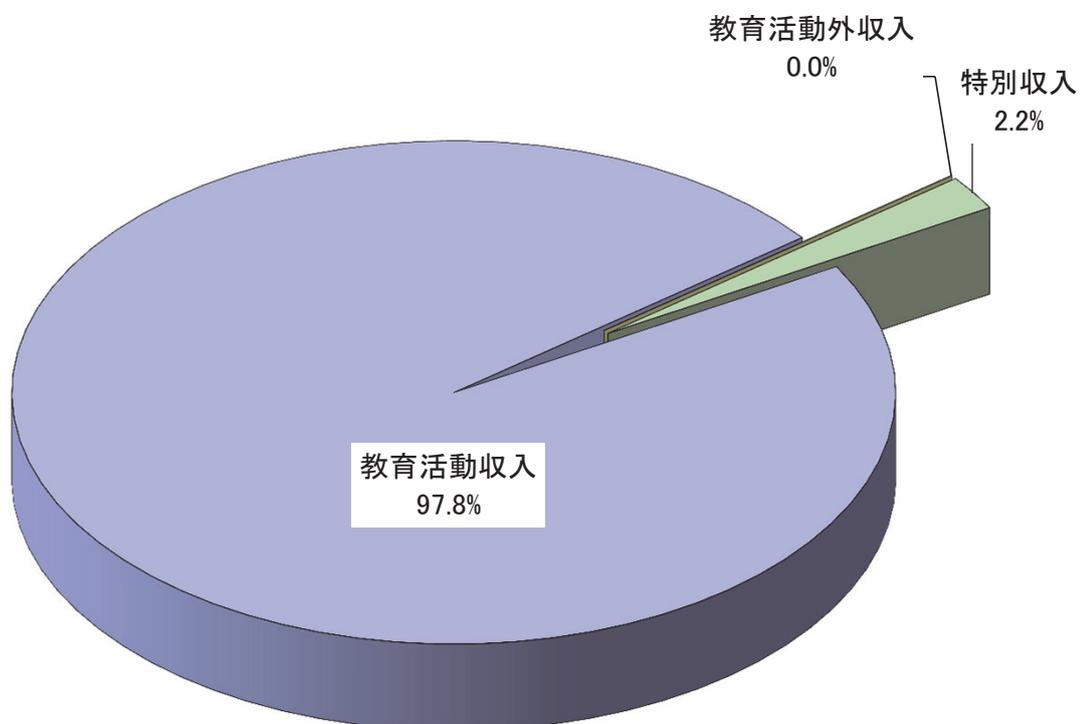
項 目			令和2年度決算	令和3年度決算
附属病院 (医科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	727人 84,998円 22,554,767千円 -	768人 88,976円 24,941,840千円 10.6%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	557人 40,031円 5,953,519千円 -	616人 40,331円 6,608,472千円 11.0%
附属病院 (歯科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	9人 60,540円 198,876千円 -	9人 62,641円 205,776千円 3.5%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	46人 5,797円 71,208千円 -	43人 5,967円 68,256千円 △4.2%
高度救命救急センター	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	43人 80,304円 1,260,375千円 -	51人 75,356円 1,402,754千円 11.3%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	9人 27,616円 66,362千円 -	9人 27,972円 66,964千円 0.9%
内丸メデイカル センター (医科)	入院収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	12人 104,096円 455,943千円 -	20人 82,870円 604,954千円 32.7%
	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	816人 18,985円 4,136,432千円 -	890人 19,595円 4,638,902千円 12.2%
メデイカル センター (歯科)	外来収入	1日平均患者数 1人1日平均単価 金額 増減率	342人 8,938円 816,175千円 -	349人 9,394円 872,106千円 6.9%
医療収入合計			35,513,657千円	39,410,024千円
その他の医療収入			239,771千円	262,809千円
総 合 計			35,753,428千円	39,672,833千円

注1) 各病院の入院患者数は在院患者数(24時現在の患者数)に退院患者数を加算した延べ患者数です。

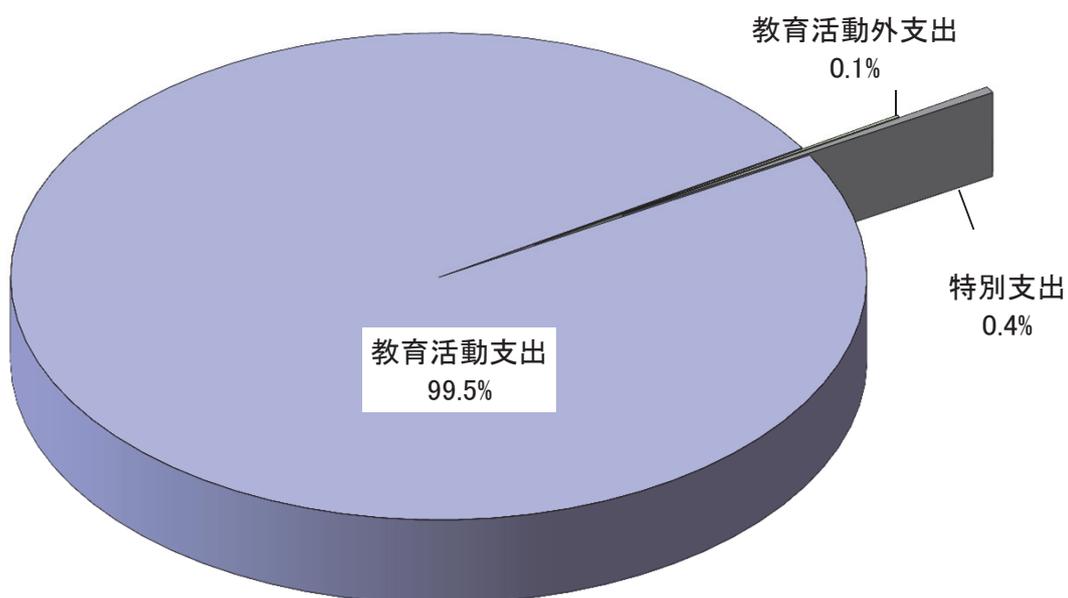
注2) 一人一日平均診療単価は審査過誤減削減後の診療単価です。

## 8. 令和3年度事業活動収支構成比率

〔事業活動収入〕

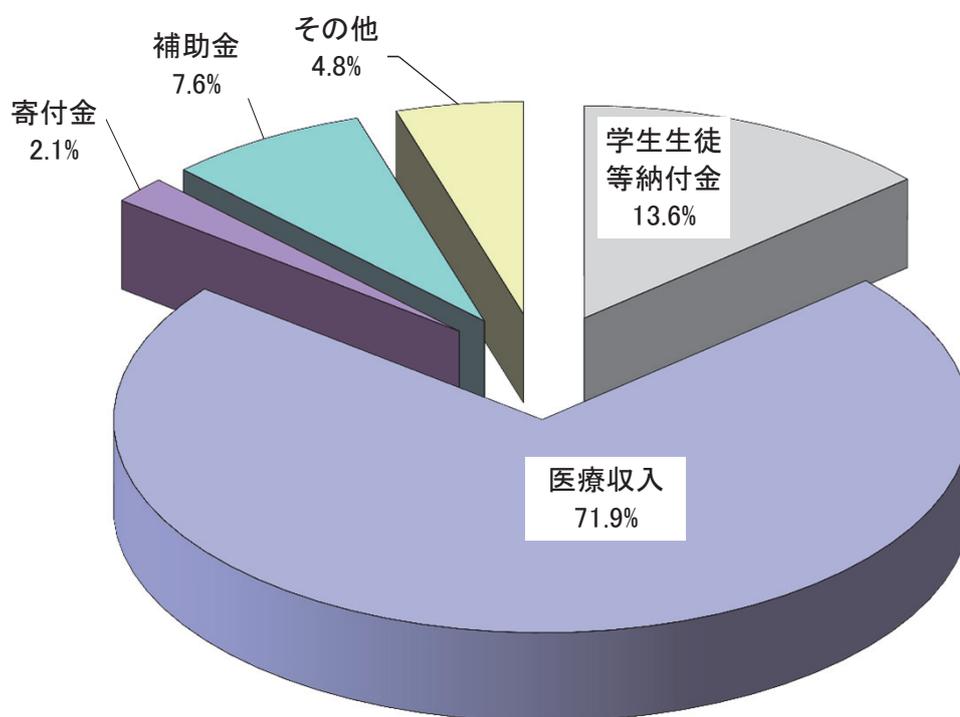


〔事業活動支出〕

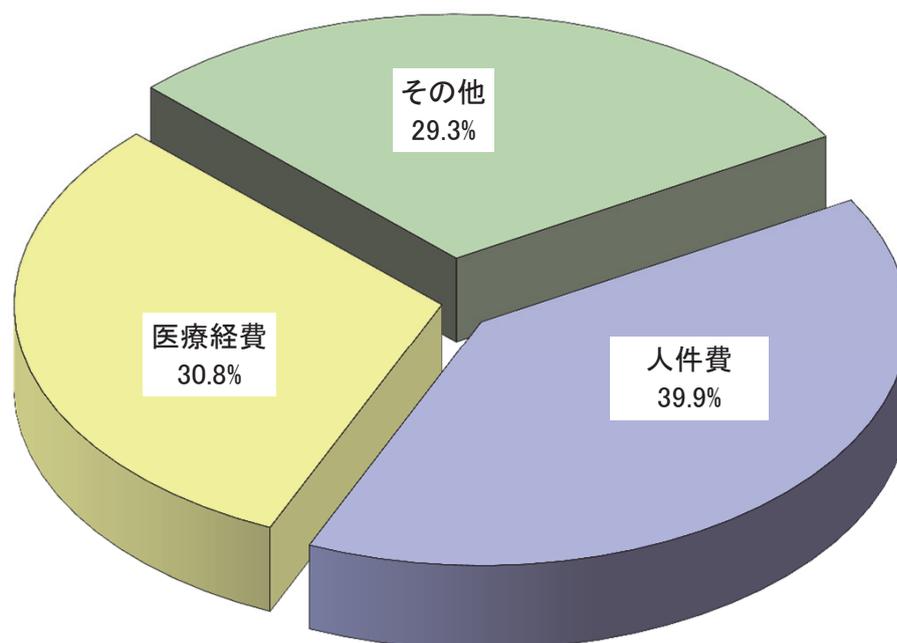


## 9. 令和3年度教育活動収支構成比率

〔教育活動収入〕



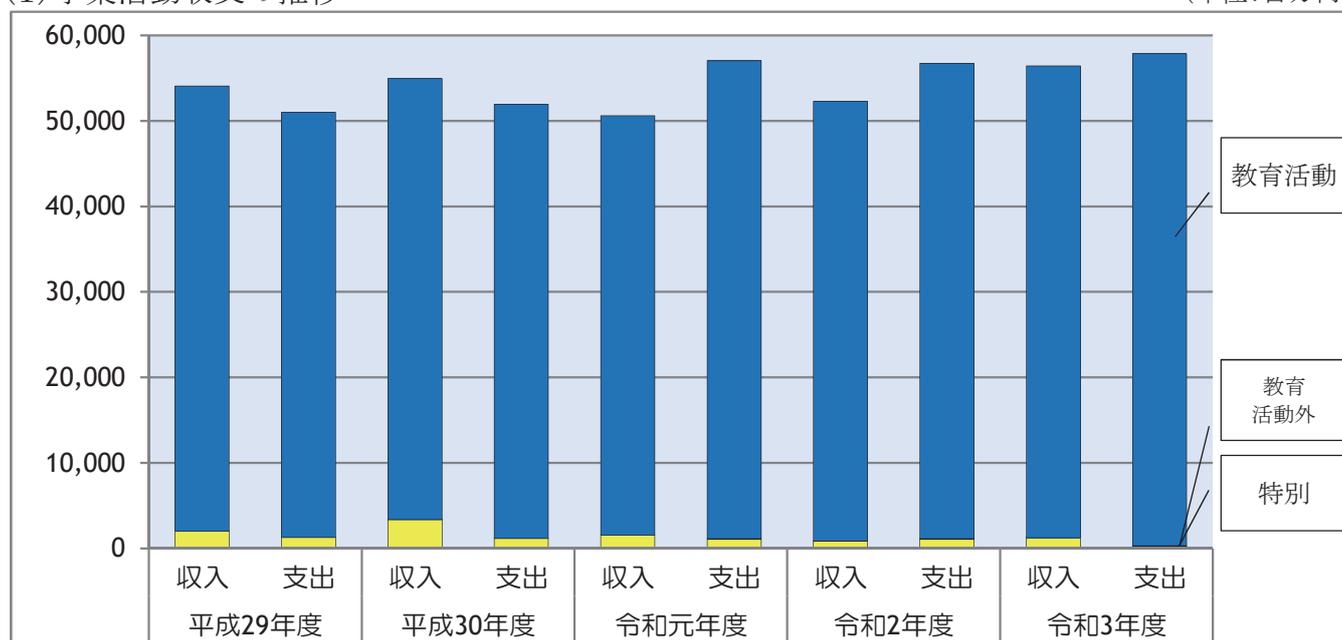
〔教育活動支出〕



## 10. 経年比較

## (1) 事業活動収支の推移

(単位:百万円)



## &lt;事業活動収入&gt;

(単位:百万円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収入	52,047	51,551	49,091	51,424	55,179
教育活動外収入	9	7	4	4	3
特別収入	2,029	3,377	1,521	849	1,250
事業活動収入計	54,085	54,935	50,618	52,277	56,434

※百万円未満切捨てのため、合計が計算上一致しない場合があります。次ページ以降同様となります。

## 【構成比率】

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収入	96.2%	93.8%	97.0%	98.4%	97.8%
教育活動外収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別収入	3.8%	6.2%	3.0%	1.6%	2.2%
事業活動収入計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## &lt;事業活動支出&gt;

(単位:百万円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動支出	49,698	50,785	55,909	55,612	57,554
教育活動外支出	0	7	65	77	76
特別支出	1,277	1,174	1,067	1,048	236
事業活動支出計	50,975	51,967	57,042	56,738	57,868

## 【構成比率】

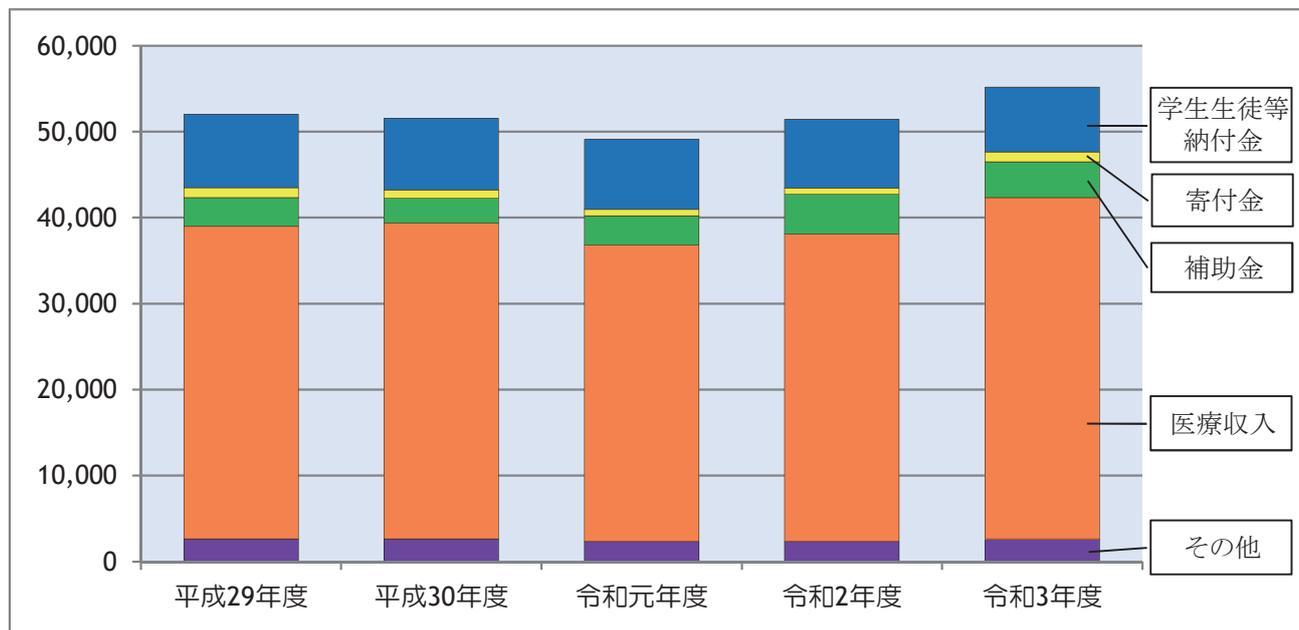
区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動支出	97.5%	97.7%	98.0%	98.1%	99.5%
教育活動外支出	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
特別支出	2.5%	2.3%	1.9%	1.8%	0.4%
事業活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## V 財務の概要

### (2) 教育活動収支の推移

#### ① 教育活動収入の推移

(単位:百万円)



#### <教育活動収入>

(単位:百万円)

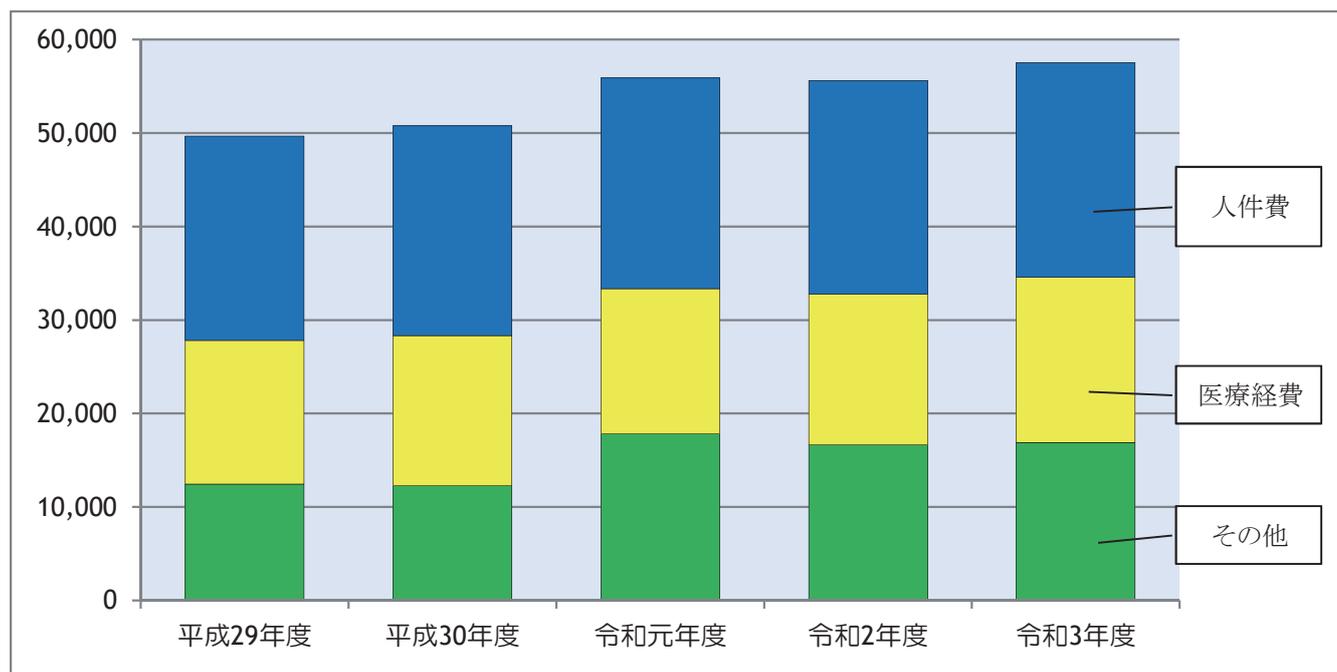
科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金	8,538	8,305	8,130	7,962	7,530
寄付金	1,162	965	730	726	1,135
経常費等補助金	3,348	2,901	3,407	4,630	4,191
付随事業収入	1,384	1,423	1,309	1,207	1,312
医療収入	36,364	36,737	34,476	35,753	39,672
雑収入他	1,249	1,218	1,038	1,144	1,337
教育活動収入合計	52,047	51,551	49,091	51,424	55,179

#### 【構成比率】

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金	16.4%	16.0%	16.6%	15.5%	13.6%
寄付金	2.2%	1.9%	1.5%	1.4%	2.1%
経常費等補助金	6.4%	5.6%	6.9%	9.0%	7.6%
付随事業収入	2.7%	2.8%	2.7%	2.4%	2.4%
医療収入	69.9%	71.3%	70.2%	69.5%	71.9%
雑収入他	2.4%	2.4%	2.1%	2.2%	2.4%
教育活動収入合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ②教育活動支出の推移

(単位:百万円)



## &lt;教育活動支出&gt;

(単位:百万円)

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費	21,870	22,440	22,546	22,853	22,966
教育研究経費	25,237	25,716	29,273	29,211	30,959
医療経費	15,389	16,060	15,515	16,124	17,704
一般教育研究経費	9,847	9,656	13,758	13,087	13,255
管理経費	2,580	2,620	4,082	3,543	3,620
徴収不能額	8	7	7	4	8
教育活動支出計	49,698	50,785	55,909	55,612	57,554

## 【構成比率】

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費	44.0%	44.2%	40.3%	41.1%	39.9%
教育研究経費	50.8%	50.6%	52.4%	52.5%	53.8%
医療経費	31.0%	31.6%	27.8%	29.0%	30.8%
一般教育研究経費	19.8%	19.0%	24.6%	23.5%	23.0%
管理経費	5.2%	5.2%	7.3%	6.4%	6.3%
徴収不能額	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育活動支出計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## V 財務の概要

### (3) 資金収支の推移

#### ①収入の推移

(単位:百万円)

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	8,538	8,305	8,130	7,962	7,530
寄付金収入	1,559	1,356	1,054	775	1,357
補助金収入	4,930	5,854	4,569	5,365	5,030
資産売却収入	0	0	3	23	0
付随事業収入	1,384	1,423	1,309	1,207	1,312
医療収入	36,364	36,737	34,476	35,753	39,672
受取利息・配当金収入	9	7	4	4	3
雑収入他	1,249	1,218	1,038	1,144	1,338
長期借入金収入	0	0	20,000	0	0
短期借入金収入	0	4,000	8,500	0	0
前受金収入	1,449	1,446	1,399	1,448	1,333
その他の収入	13,839	23,257	16,518	8,370	9,716
資金収入調整勘定	△ 10,777	△ 12,436	△ 9,130	△ 10,409	△ 10,890
前年度繰越支払資金	21,032	21,272	18,537	9,381	9,233
収入の部合計	79,578	92,442	106,411	61,027	65,638

#### 【構成比率】

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	10.7%	9.0%	7.6%	13.0%	11.5%
寄付金収入	2.0%	1.5%	1.0%	1.3%	2.1%
補助金収入	6.3%	6.3%	4.3%	8.8%	7.7%
資産売却収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
付随事業収入	1.7%	1.5%	1.2%	2.0%	2.0%
医療収入	45.7%	39.8%	32.4%	58.6%	60.4%
受取利息・配当金収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
雑収入他	1.6%	1.3%	1.0%	1.9%	2.0%
長期借入金収入	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%
短期借入金収入	0.0%	4.3%	8.0%	0.0%	0.0%
前受金収入	1.8%	1.6%	1.3%	2.4%	2.0%
その他の収入	17.4%	25.2%	15.5%	13.7%	14.8%
資金収入調整勘定	△ 13.6%	△ 13.5%	△ 8.5%	△ 17.1%	△ 16.6%
前年度繰越支払資金	26.4%	23.0%	17.4%	15.4%	14.1%
収入の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ②支出の推移

(単位:百万円)

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費支出	22,054	22,552	22,389	22,793	22,857
教育研究経費支出	21,993	22,758	24,913	23,867	25,559
医療経費支出	15,408	16,072	15,808	16,144	17,693
一般教育研究経費支出	6,585	6,685	9,105	7,723	7,866
管理経費支出	2,473	2,506	3,679	3,028	3,180
借入金等利息支出	0	7	65	77	76
借入金等返済支出	0	0	12,500	0	1,155
施設関係支出	12,331	26,280	7,642	442	612
設備関係支出	2,446	763	10,645	1,405	859
資産運用支出	4,500	2,000	2,500	500	500
その他の支出	3,882	12,056	15,701	3,660	4,640
予備費	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 11,375	△ 15,019	△ 3,007	△ 3,982	△ 3,535
次年度繰越支払資金	21,272	18,537	9,381	9,233	9,731
支出の部合計	79,578	92,442	106,411	61,027	65,638

## 【構成比率】

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費支出	27.7%	24.4%	21.0%	37.4%	34.8%
教育研究経費支出	27.7%	24.6%	23.4%	39.1%	39.0%
医療経費支出	19.4%	17.4%	14.9%	26.4%	27.0%
一般教育研究経費支出	8.3%	7.2%	8.5%	12.7%	12.0%
管理経費支出	3.1%	2.7%	3.5%	5.0%	4.8%
借入金等利息支出	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
借入金等返済支出	0.0%	0.0%	11.7%	0.0%	1.8%
施設関係支出	15.5%	28.4%	7.2%	0.7%	0.9%
設備関係支出	3.0%	0.8%	10.0%	2.3%	1.3%
資産運用支出	5.7%	2.2%	2.3%	0.8%	0.8%
その他の支出	4.9%	13.0%	14.8%	6.0%	7.1%
予備費	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資金支出調整勘定	△ 14.3%	△ 16.2%	△ 2.8%	△ 6.5%	△ 5.4%
次年度繰越支払資金	26.7%	20.1%	8.8%	15.1%	14.8%
支出の部合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## V 財務の概要

### (4) 貸借対照表の推移

#### ①資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固定資産	86,185	98,505	109,154	105,453	101,560
有形固定資産	64,762	88,251	101,300	97,096	92,721
土地	10,376	10,376	10,347	10,347	10,347
建物	30,362	29,313	70,092	67,372	64,815
その他の有形固定資産	24,022	48,561	20,861	19,377	17,556
特定資産	21,315	9,988	7,603	8,103	8,603
その他の固定資産	107	265	250	253	235
流動資産	31,205	30,200	18,003	19,193	20,101
現金預金	21,272	18,537	9,381	9,233	9,731
その他の流動資産	9,932	11,662	8,622	9,960	10,369
資産の部合計	117,390	128,705	127,158	124,646	121,661

#### ②負債の推移

(単位:百万円)

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固定負債	11,080	11,706	32,651	32,399	30,960
長期借入金	0	0	20,000	18,845	17,305
その他の固定負債	11,080	11,706	12,651	13,554	13,655
流動負債	13,296	21,017	4,950	7,150	7,038
短期借入金	0	4,000	0	1,155	1,540
その他の流動負債	13,296	17,017	4,950	5,995	5,498
負債の部合計	24,376	32,723	37,601	39,550	37,999

#### ③純資産の推移

(単位:百万円)

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基本金	121,194	127,878	132,819	133,378	134,777
第1号基本金	99,054	117,065	124,692	125,051	126,249
第2号基本金	18,212	6,885	4,200	4,400	4,600
第3号基本金	403	403	403	403	403
第4号基本金	3,524	3,524	3,524	3,524	3,524
繰越収支差額	△ 28,180	△ 31,896	△ 43,262	△ 48,281	△ 51,114
純資産の部合計	93,014	95,981	89,557	85,096	83,662

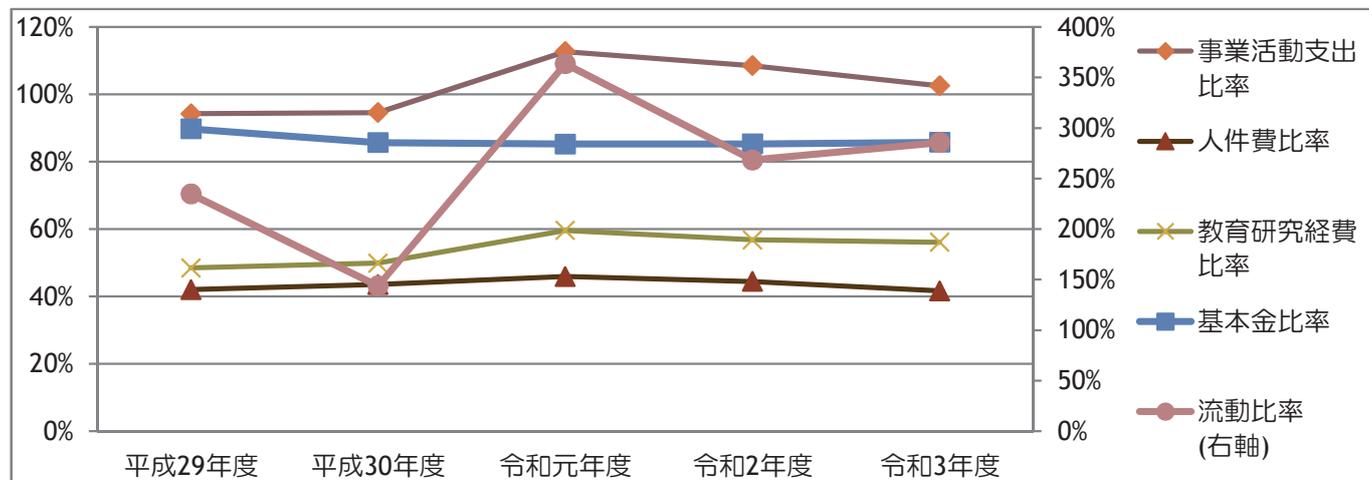
#### ④負債及び純資産の部合計推移

(単位:百万円)

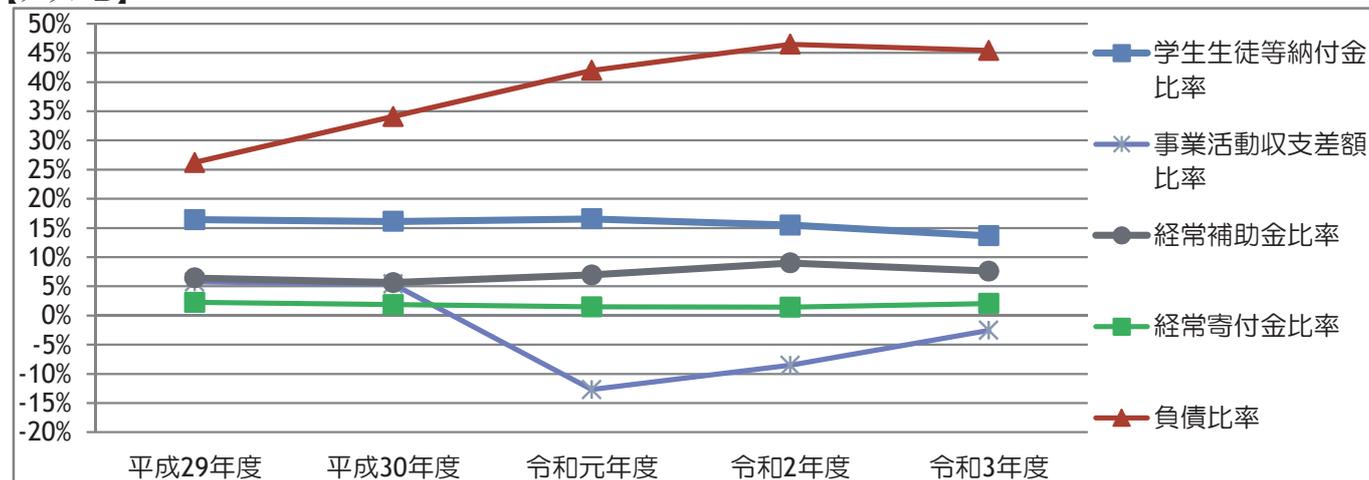
科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
負債及び純資産の部合計	117,390	128,705	127,158	124,646	121,661

(5) 主要財務比率の推移

【グラフA】



【グラフB】



※経常収入＝教育活動収入+教育活動外収入

主要財務比率		計算式	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
グラフA	1	事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	94.2%	94.6%	112.7%	108.5%	102.5%
	2	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	42.0%	43.5%	45.9%	44.4%	41.6%
	3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	48.5%	49.9%	59.6%	56.8%	56.1%
	4	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	89.7%	85.7%	85.2%	85.3%	85.8%
	5	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	234.7%	143.7%	363.7%	268.4%	285.6%
グラフB	6	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	16.4%	16.1%	16.6%	15.5%	13.6%
	7	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	5.8%	5.4%	△12.7%	△8.5%	△2.5%
	8	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収入の補助金}}{\text{経常収入}}$	6.4%	5.6%	6.9%	9.0%	7.6%
	9	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収入の寄付金}}{\text{経常収入}}$	2.2%	1.9%	1.5%	1.4%	2.1%
	10	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	26.2%	34.1%	42.0%	46.5%	45.4%

## 11. 学校法人会計の特徴について

### 1、学校法人会計の特徴と企業会計との違い

学校法人は、永続的な教育研究活動の維持向上を主目的とした非営利組織であり、国や地方公共団体より補助を受けている公共性の高い組織でもあります。そのため、昭和46年に制定された「学校法人会計基準」に則り、営利の追求を目的とする企業会計とは異なる独自の会計処理が義務付けられています。

	学 校 法 人	企 業
組織の目的	永続的な教育研究活動の維持向上 (非営利組織)	利益の獲得、出資者への還元 (営利組織)
会計処理	学校法人会計基準	企業会計原則

### 2、学校法人会計における作成書類

学校法人会計基準では、基本的な会計処理のルールについては複式簿記の原則や企業会計原則を踏襲しておりますが、財務書類については学校法人会計独自の書類作成が必要となります。

#### ①事業活動収支計算書（企業会計：損益計算書）

当該会計年度の収入と支出の内容と均衡状態を明確にし、学校法人の経営状態を表す財務書類です。

企業会計における損益計算書に相当しますが、企業の経営成績を示すために当該会計年度の収益と費用を計算し損益管理を行うことを目的とする損益計算書に対し、事業活動収支計算書では、利益追求を目的としない学校法人の諸活動を損益ではなく収支として表示し、基本金(※)への組入額を加味した収支の差額によって経営状態を表すことを目的としています。

なお、資金収支計算書で計上されない現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されますが、負債となる借入金や前受金(翌年度に計上すべき収入の入金分)、固定資産取得に係る支出等については計上されません。

#### ※基本金

学校法人が諸活動を行うにあたっての必要な資産を継続的に維持するために組み入れた金額です。

企業会計における資本金に類似していますが、出資者の出資額を表す資本金に対し、基本金は、学校法人設立時に受け入れた寄付金や設立後の事業活動で獲得した自己資金により、基本金組入対象の資産を取得する金額を表します。

事業活動収支の基本金組入前当年度収支差額は、当年度の収支状況を示しますが、基本金組入対象資産は当年度に獲得した自己資金だけで取得するものではなく、学校法人が将来のために準備した積立金なども取得の原資となります。

そのため、基本金組入後の当年度収支差額によって示された経営状態は、資金収支計算書および貸借対照表とあわせて評価する必要があります。

### ②資金収支計算書（企業会計：キャッシュフロー計算書）

全ての収入及び支出の内容と資金の流れを明らかにする財務書類です。

企業会計におけるキャッシュフロー計算書に相当しますが、資金の獲得能力や支払能力の分析を目的とするキャッシュフロー計算書に対し、資金収支計算書では、当該会計年度の諸活動における全ての収支の内容及び支払資金の顛末を明らかにすることを目的としています。

なお、現預金が増減する諸活動全てが収支として計上されますが、現物寄付や減価償却等の現預金が増減しない諸活動については計上されません。

### ③貸借対照表（企業会計：貸借対照表）

当該年度末時点での学校法人の資産、負債、純資産（資産－負債）の額によって財政状況を明らかにするための財務書類です。

事業活動収支計算書及び資金収支計算書は単年度の収支状況を表していますが、貸借対照表は今までの財政活動における累計額を表します。

なお、企業会計における貸借対照表とほぼ同様の様式となっていますが、企業会計では資本金を表示する部分について、学校法人会計では基本金を表示するといった違いがあります。

	学 校 法 人	企 業
財務書類	事業活動収支計算書	損益計算書
	資金収支計算書	キャッシュフロー計算書
	貸借対照表	貸借対照表

①事業活動収支計算書の科目説明

教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手数料	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄付金	金銭その他資産を寄贈者から贈与されたもので補助金としないもの
経常費等補助金	国または地方公共団体からの補助金
国庫補助金	国から交付される補助金
地方公共団体補助金	地方公共団体から交付される補助金
付随事業収入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医療収入	医療に関わる収入
雑収入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
教育活動収入計	教育活動収入科目の合計額
事業活動支出の部	
人件費	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金、退職給与引当金への繰入額等
教育研究経費	教育研究のために支出する経費
医療経費	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一般教育研究経費	医療経費以外の教育研究経費
管理経費	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
徴収不能額	債権について徴収不能となった額
教育活動支出計	教育活動支出科目の合計額
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	預金利息および株式の配当金
教育活動外収入計	教育活動外収入科目の合計額
事業活動支出の部	
借入金等利息	借入金の支払利息
教育活動外支出計	教育活動外支出科目の合計額
経常収支差額	法人の経常的な活動である、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した額
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	資産の売却で、代価が帳簿残高を超えたときの超過額
その他の特別収入	施設設備の取得に係る寄付金・補助金等の収入、過年度決算の誤りによる収入等
特別収入計	特別収入科目の合計額
事業活動支出の部	
資産処分差額	資産の売却で代価が帳簿価格を下回った時の差額
その他の特別支出	過年度決算の誤りによる支出等
特別支出計	特別支出科目の合計額
基本金組入前当年度収支差額	当該年度の事業活動収入から事業活動支出を引いた収支差額
基本金組入額合計	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、収入のうちから組入れる額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差引した合計額
前年度繰越収支差額	前年度まで繰り越された、当年度収支差額の累計額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額を足した、翌年度に繰り越される収支差額

## ②資金収支計算書の科目説明

収入の部	
科 目	摘 要
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金等、学生等から納入されたもの
手数料収入	入学検定料、試験料、各種証明書発行手数料、学位審査料等
寄付金収入	金銭を寄贈者から贈与されたもので補助金としないもの
補助金収入	国または地方公共団体からの補助金
国庫補助金収入	国から交付される補助金
地方公共団体補助金収入	地方公共団体から交付される補助金
資産売却収入	資産の売却収入
付随事業収入	外部からの受託を受けた試験、研究、事業等による収入
医療収入	医療に関わる収入
受取利息・配当金収入	預金利息および株式の配当金
雑収入	施設設備利用料、土地家屋賃貸料、退職金財団交付金等
借入金等収入	借入金等の収入
前受金収入	翌年度入学の学生等に係る学納金収入等
その他の収入	上記の各収入以外の収入
資金収入調整勘定	当会計年度の諸活動に対する収入で前会計年度以前に支払資金収入になったもの、 当会計年度の諸活動に対する収入で翌会計年度以降に支払資金を受入れるもの
前年度繰越支払資金	期首の現預金残高
収入の部合計	各収入科目の合計額
支出の部	
科 目	摘 要
人件費支出	教職員、理事、監事に支給する本俸、期末手当等の諸手当、所定福利費、退職金等
教育研究経費支出	教育研究のために支出する経費
医療経費支出	医薬品費、医療材料費、給食材料費等、医療のために支出する経費
一般教育研究経費支出	医療経費以外の教育研究経費
管理経費支出	総務、人事、財務、学生・生徒募集活動等、教育・研究活動以外の支出
借入金等利息支出	借入金等の支払利息
借入金等返済支出	借入金等の返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物、建設仮勘定等の支出
設備関係支出	教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書等の支出
資産運用支出	有価証券の取得、引当特定資産の繰入支出等
その他の支出	上記の各支出以外の支出
資金支出調整勘定	当該会計年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前に資金を支払ったもの、 当会計年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後に資金が支払うもの
翌年度繰越支払資金	期末の現預金残高
支出の部合計	各支出科目の合計額

③貸借対照表の科目説明

資産の部	
科 目	摘 要
固 定 資 産	有形固定資産、特定資産及びその他の固定資産
有 形 固 定 資 産	土地、建物、構築物、機器備品等の形が有る資産
土 地	校舎敷地、運動場等
建 物	校舎、体育館、建物に附属する電気設備、空調設備等
その他の有形固定資産	土地、建物以外の有形固定資産
特 定 資 産	施設の拡充等に係る預金等の用途を特定する資産
その他の固定資産	有価証券やソフトウェア、敷金等の形が無い資産
流 動 資 産	資産のうち、1年以内に現金化、費用化できるもの
現 金 預 金	現金及びいつでも引き出すことができる預貯金
その他の流動資産	現金預金以外の流動資産
資 産 の 部 合 計	固定資産と流動資産の合計額
負債の部	
科 目	摘 要
固 定 負 債	長期借入金、長期未払金等の支払期限が1年を超える負債
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金
その他の固定負債	長期借入金以外の固定負債
流 動 負 債	短期借入金、未払金等の支払期限が1年以内である負債
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内である借入金
その他の流動負債	短期借入金以外の流動負債
負 債 の 部 合 計	固定負債と流動負債の合計額
純資産の部	
科 目	摘 要
基 本 金	学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして組み入れた金額
第 1 号 基 本 金	固定資産に対応する基本金
第 2 号 基 本 金	施設の拡充に対応する基本金
第 3 号 基 本 金	奨学資金に対応する基本金
第 4 号 基 本 金	恒常的な支払資金に対応する基本金
繰 越 収 支 差 額	繰り越される収支差額
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	翌年度に繰り越される収支差額
純 資 産 の 部 計	基本金と繰越収支差額の合計額
科 目	摘 要
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	負債の部と純資産の部の合計額





# 岩手医科大学

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

Tel 019-651-5111 (代表)

[www.iwate-med.ac.jp](http://www.iwate-med.ac.jp)

発行 令和4年5月30日 岩手医科大学 法人事務部企画調整課